

Futaba

SkyLeaf MX

スカイリーフ MX < 30cc クラスガソリンエンジン / 電動モーター >
上級者向け大型RCアクロプレーン



組立説明書

1M23N28813

このたびは スカイリーフ MX・RC プレーンをお買い上げいただきまして
誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この組立説明書をお読みのうえ、正しく組立て安全にお楽しみください。
また、お読みになられたあとも大切に保管してください。

⚠ 危険

❗ 組立について

この製品は完成機ではありません。お客様自身で正確に組み立て自己の責任にて安全にお楽しみください。組立不良による事故に関しては弊社は一切責任をおいしません。

❗ 飛行について

この飛行機は RC 大型飛行機の組立、飛行を十分マスターした上級者が対象となっています。大型機は特有の組立、飛行技術が必要です。未経験の方には組立や飛行することができません。未習熟の方の飛行中の事故に関しては弊社は一切責任をおいしません。

❗ アクロフライトについて

この飛行機は高度なアクロフライトができるように、舵の面積が大きく、舵角も多くとれるようになっています。アクロフライトは、はげしい動きで、予期せぬ失速がおきる危険性があります。また、舵角を大きくすると、ニュートラルの保持力が低下して、高速飛行時にフラッターが起きやすくなるので慎重な速度制御が必要となります。アクロフライトは、飛行技術がある方が、人や建物・自動車などに被害がおよばない安全な場所で、操縦者自身もヘルメット、防護メガネを付けるなど十分安全に考慮して、自己責任にてお楽しみください。

❗ 機体の強度について

この飛行機は飛行性能を向上させるために、極力軽量化しています。そのため機体強度は最低限となっています。機体を強く握ったり、上にものを乗せたりすると破損することがあります。機体の取扱いには十分な注意が必要です。

❗ 燃料について（ガソリンエンジンの場合）

ガソリンは引火性・爆発性が高く、また有毒で非常に危険ですので、取扱には十分注意してください。使用するエンジンの説明書をよく読んで必ず守ってください。機体からガソリンが抜いてあってもガスが残っていると引火・爆発する可能性があるため機体・燃料付近には、消火器を常備し、火気厳禁としてください。ガソリンは消防法に従って、運搬・保管してください。

✂ 飛行のために必要な物

このセットは、飛行機の半完成キットです。飛行するためには RC 送受信機、ガソリンの場合：RC 飛行機用ガソリンエンジン・マフラー・燃料や始動用具。電動の場合：RC 飛行機用モーター・バッテリー・モーターコントローラー・充電器などが別に必要です。また組立には接着剤や工具が必要です。この説明書にしたがってそろえる必要があります。

✂ 機体の精度について

この飛行機は半完成キットのため、若干の寸法誤差があります。組み立てには多少の加工や調整が必要になります。また、フィルムは温度、湿度などによってシワ、はがれがおこる場合があります。

用途、改造等に関するご注意

1. 模型用以外に使用しないで下さい。

本説明書に記載されている製品は、用途が模型用に限定されております。

2. 改造、調整、部品交換した場合のご注意

本製品を弊社以外で改造、パーツ交換などの手が加えられた場合、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。




- 本書の内容の一部または全部を無断で転載しないでください。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容は万全を期して作成していますが、万一ご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- お客様が機器を使用された結果につきましては、責任を負いかねることがございますのでご了承ください。

安全にお使いいただくために

いつも安全に製品をお使いいただくために、以下の点にご注意ください。

表示の意味

本書の中で次の表示がある部分は、安全上で特に注意する必要がある内容を示しています。

表示	意味
 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される場合。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。または、軽傷、物的損害が発生する可能性が高い場合。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が重傷を負う可能性は少ないが、傷害を負う危険が想定される場合。ならびに物的損害のみの発生が想定される場合。










図記号：

：禁止事項





：必ず実行する事項

組立時の注意


















危険


-  組立説明書にしたがって正確に組み立てる。
 - 組立不良や改造をすると空中分解や墜落する危険性があります。
-  重心位置は指定の範囲内にする。
 - オモリなど使用して必ず指定の範囲内にしてください。指定範囲をはずれると不安定になり墜落します。
-  各舵の動作方向を十分に確認する。
 - 舵の動作方向を間違えると操作不能で墜落します。
-  エンジン・モーター（動力用バッテリー）・プロペラは指定の範囲内のものを使用する。
 - 指定外のものを使用すると操縦不能や空中分解で墜落します。
-  機体のねじれや曲がりは修正する。
 - ねじれたり曲がったりしたまま飛行すると操縦不能で墜落します。
-  リンケージは軽くスムーズにひっかかれないようにする。
 - リンケージが渋かったりひっかかったりしたまま飛行すると操縦不能で墜落します。
-  主翼をカンザシパイプに挿しこむときは、まっすぐに挿入しムリにこじ入れない。
 - 曲がった状態でムリに差し込むと翼内部が破損し空中分解して墜落します。
-  燃料タンク、燃料パイプ、燃料ポンプなどは必ずガソリンエンジン用を使用する。（ガソリンエンジンの場合）
 - グロ-燃料用は使用できません。侵されて燃料が漏れ引火・爆発する危険性があります。
-  各配線の金属部に直接触らない。
 - 高電圧部に触れると感電して死亡・大ケガする恐れがあります。


警告


-  小さなお子様のいる場所での組立はしない。
 - 小さな部品やビニール袋などをくちにいれる危険性があります。
-  換気の悪い場所で燃料、接着剤や洗浄剤を使用しない。
 - 中毒になる危険性があります。
-  カッターやドリル、キリ、ニッパーなどを使用する場合は、けがに十分に注意する。
 - 組立には工具が必要です。危険なものもありますので十分注意してください。
-  組立時にアイロンやドライヤーを使用する場合はやけどに十分注意する。
 - フィルムの補修などで発熱する道具を使用する場合、触れるとやけどする危険性があります。
 - 一度でもガソリンを給油した機体には、アイロン、ドライヤーは使用しないでください。引火・爆発の危険性があります。

⚠ 危険

-  周囲の電波の影響により電波が届かなくなる場合があります。ご使用前の動作テストや使用中にこのような状況がある場合は使用を中止する。
-  操作中、送信機を他の送信機や携帯電話等の無線装置に接触させたり近づけたりしない。
■誤動作の原因となります。
-  雨の日、風の強いときや夜間は絶対に飛行させない。
■機体内部に水が入り空中分解したり、操縦不能となったり、見失ったりして墜落します。
-  フックバンドを首にかけたままで、エンジン・モーターのスタート操作をしない。
■フックバンドが回転するプロペラへ吸い込まれると死亡や大ケガとなります。
-  疲れているとき、病気のとき、酔っぱらっているようなときは飛行させない。
■集中力を欠いたり、正常な判断ができないため思わぬ操作ミスをおかして墜落します。
-  次のような場所では飛行させない。
 - ・人の近くや上空
 - ・法律、条令で飛行が禁止されている場所
 - ・家屋、学校、病院、道路などの人の集まる場所の近く
 - ・高圧線、高い建造物または通信施設の近く■電波の混信や障害物などにより墜落したり、万一、プロポや機体の故障により墜落した場合、人命を奪ったり、家屋等の損傷をひきおこします。
-  安全のため、常に機体が視認できる状態で飛行する。
■建物等の大きな障害物の背後への飛行は見えないばかりでなく、通信品質も低下し機体のコントロールができなくなる恐れがあります。
-  飛行前には必ず機体の点検を実行する。
■機体、プロポ等のどこかに一つでも異常があれば墜落します。
*毎回飛行前に、機体各部の点検をおこなってください。各舵を動作させてみて、各舵が追従動作することを確認します。追従動作しない場合や異常な動作をする場合は飛行しないでください。
-  安全上、必ずフェイルセーフ機能の設定を行なう。
■スロットルのフェイルセーフ設定は通常の場合最スローになるように設定します。また、状況に合わせて安全な位置に設定してください。正しく電波を受信できなくなった場合に、フルハイで墜落すると大変危険です。
-  使用中、使用直後には、エンジン、マフラー、モーター、モーターコントローラー、バッテリー等には触れない。
■高温になっているためヤケドします。
-  <電源スイッチを入れるとき>
送信機のスロットルスティックを最スローの状態とした後、
 1. 送信機の電源スイッチを入れてから
 2. 受信機側の電源スイッチを入れる
-  <電源スイッチを切るとき>
エンジンを停止、電動の場合動力用バッテリーの接続を外した後、
 1. 受信機側の電源スイッチを切ってから
 2. 送信機の電源スイッチを切る■操作の順番を逆にすると、不意にプロペラが回転し、死亡や大ケガをします。
*最スロー：モーターがストップする方向。
-  機体やプロポの調整を行うときは、必ず、エンジンを停止、電動の場合は動力用バッテリーの接続を外して行う。
■不意にプロペラが回転した場合、死亡や大ケガをします。
-  急降下などで機体のスピードを上げすぎない。
■高速になりすぎるとフラッターで機体が破損し墜落します。
-  高速時に急なエレベーター操作をしない。
■失速して操縦不能になります。また、過度のGがかかり空中分解して墜落します。
-  過度の低速状態にしない。
■失速して操縦不能になり墜落します。
-  人や建物・自動車に向かって飛行しない。
■激突して死亡や大ケガ、器物破損のおそれがあります。

 回転中のプロペラの前方や側面に、手や体を置かない。
■プロペラが破損した場合、死亡や大ケガ、器物破損のおそれがあります。


 プロペラの回転面に、手や体を置かない。
■プロペラに触れた場合、死亡や大ケガのおそれがあります。


 ぐわえタバコで給油、エンジン始動、機体の取扱をしない。
■ガソリン・揮発ガスに引火して、爆発・火災の危険性があります。




保管・廃棄時の注意


警告


 機体・バッテリー・燃料等を幼児の手の届く所に放置しない。
■触って作動させたり、バッテリー・燃料をなめたりすると、ケガをしたり、化学物質による被害を受けます。

 機体・バッテリー・燃料を火の中に投入したり、加熱したりしない。また、分解したり、改造したりしない。
■爆発、破裂、異常発熱、漏液、有毒ガス等により、ケガ、ヤケド、失明等を行います。

注意

 機体は次のような場所に保管しない。
・火気のあるところ。
・極端に暑いところ (30℃以上)、寒いところ (-10℃以下)。
・直射日光があたるところ。
・湿気の多いところ。
・振動の多いところ。
・ほこりの多いところ。
・蒸気や熱があたるところ。
■上記のようなところに保管すると、火事や機体の変形・故障の原因となります。
■暑い日に日の当たる場所に機体を置いておくと、キャンピーが変形したり、フィルムにシワが発生したりします。機体は日陰に置くようにしましょう。


 使用しない場合は、バッテリーを機体から取り出して、エンジンの場合は燃料を抜き、湿気の少ない場所に保管する。
■そのまま放置すると、電池の漏液により、機体の性能や寿命を低下させます。


 機体の上にものを乗せたり、ストレスのかかる状態で保管しない。
■この飛行機は飛行性能向上のため強度は最低限となっています。上にものを乗せたり、ストレスがかかると、変形したりネジシが発生して操縦不能になります。





その他の注意


注意


 燃料、廃油、排気等を直接プラスチック部分にかけない。
■そのままにしておくと、プラスチックが侵され、破損します。


 送信機、受信機、サーボ、その他オプションパーツは、必ず指定範囲内の組み合わせで使用する。
■指定範囲外の組み合わせにより発生した損害等につきましては、当社では責任を負いません。たとえば指定より大きなエンジン・モーターを搭載すると、機体バランスが損なわれ、不安定になったり、過速度により空中分解したりします。必ず取扱説明書に記載されている範囲内のものを使用してください。

 この飛行機の材料は可燃物が多く使用されています。またエンジン機の場合ガソリンは非常に引火性が高いので火災には十分ご注意ください。
■飛行時以外は必ず燃料を抜き (エンジン機の場合)、バッテリーをはずし、火気のないところに保管してください。

 バッテリーの充電は、かならず機体からはずして、はなれた場所でおこなう。
■機体に搭載したまま充電すると、ガソリン・揮発ガスに引火して、爆発・火災の危険性があります。

 静電気による引火に注意する。
■ガソリンの揮発ガスは静電気で引火、爆発する危険性があります。

 ガソリンの給油に電動ポンプで行なう場合は、ガソリン専用の電動ポンプを使用する。(エンジン機の場合)
■ガソリン専用以外のポンプはモーターからの火花でガソリン・揮発ガスが引火、爆発する危険性があります。

 ラジコン保険に加入する。
■ラジコン保険の加入申し込みはラジコン操縦士登録代行店にお問い合わせください。

1 キットのほかに必要なもの



- 6チャンネル以上の空用送信機 / 受信機
- 受信機用バッテリー
- サーボ用延長コード
- スピナー (82mm)

電動の場合

- 65インチクラスのモーター (Futaba FMA-5065-KV300 など)
- モーターコントローラー (Futaba MC9100A など)
- 動力用リチウムポリマーバッテリー (8セル 3500 ~ 5000mAh)
- リチウムポリマー充電器
- プロペラ (19x10 ~ 20x8)
- サーボ 5個 (サーボ付セットの場合は不要)

ガソリンの場合

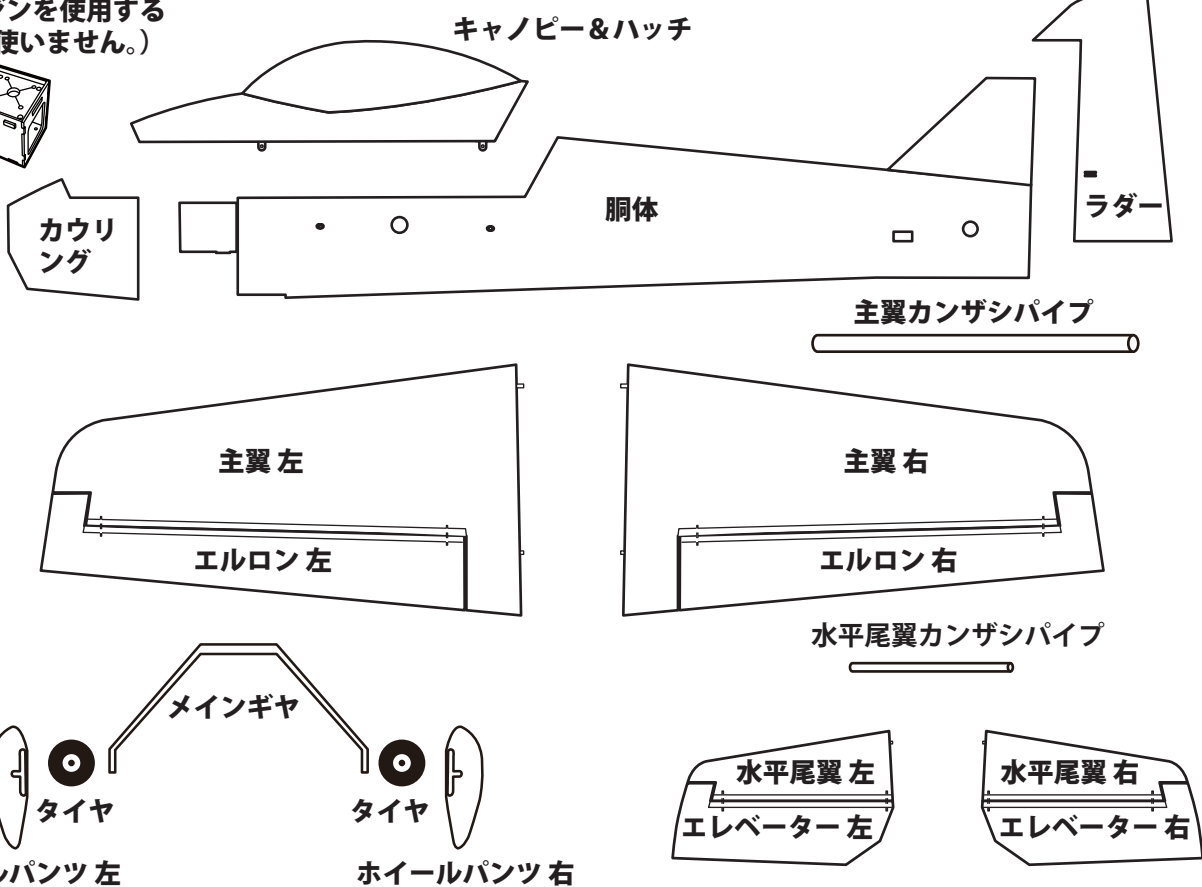
- 30ccクラスのガソリンエンジン (O.S. GT33 推奨)
- マフラー (消音器)
- OS GT33の場合: OS スタンド・オフ・エンジン・マウント・44.5mm
- RC ガソリンエンジン用燃料タンク (400 ~ 500cc)
- ガソリンエンジン用燃料パイプ (三又ニップル、燃料ストッパー)
- イグナイター用バッテリー
- プロペラ (18x10 ~ 19x8 インチ)
- サーボ 6個 (サーボ付セットの場合エンコンサーボ 1個必要)



- カッター
- ニッパー
- ラジオペンチ
- ハサミ
- プラスドライバー各種
- 六角ドライバー各種
- ボックスドライバー各種
- キリ
- ドリル
- フィルム貼用コテ
- ヒートガン
- テープ
- マジックテープ
- エポキシ系接着剤
- 瞬間接着剤
- マジックペン
- 金ヤスリ
- サンドペーパー
- はんだこて、はんだ
- グリス など

2 キットに付属しているもの

モーターマウント
(エンジンを使用する
場合は使いません。)

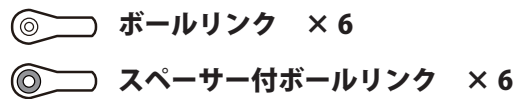
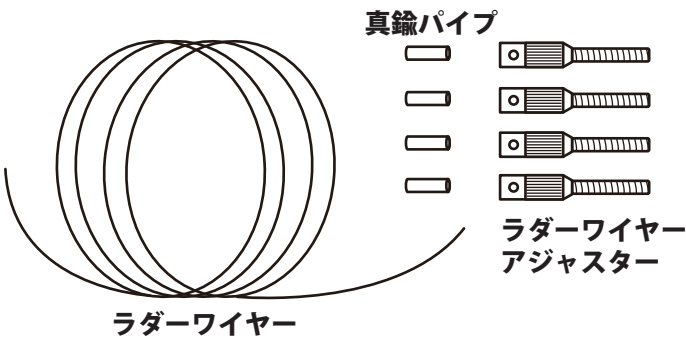
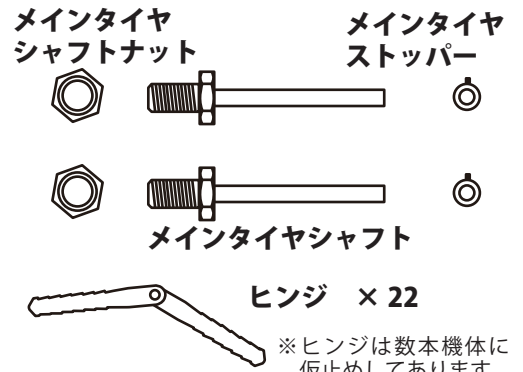
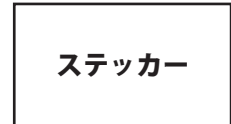
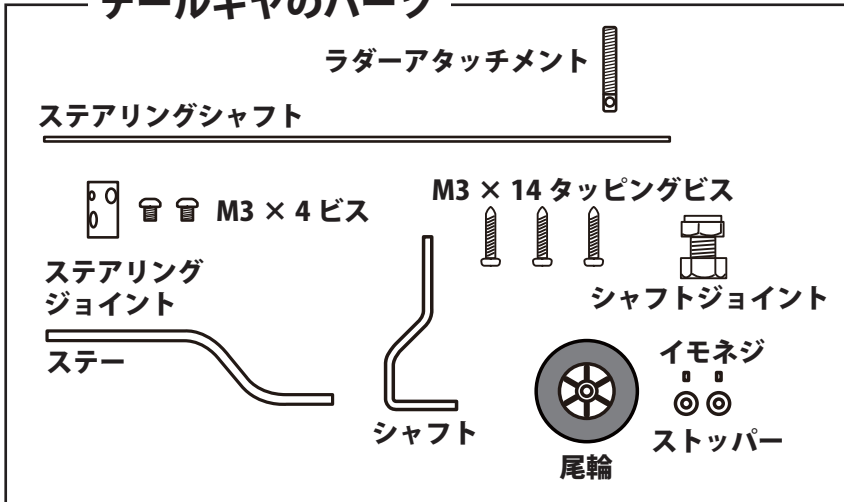


- フィルムにシワがある場合、あらかじめフィルム用のコテやドライヤーで伸ばして下さい。また、フィルムのつなぎめは、クリアーウレタン塗料などでハケ塗りしておく、フィルムはがれの予防になります。

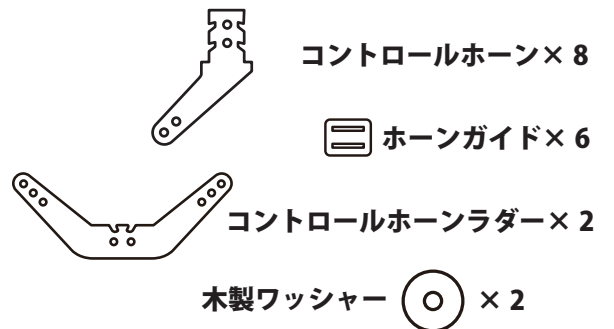
注! コテ、ドライヤーは高温にしすぎるとフィルムが溶けるので気をつけてください。



テールギヤのパーツ



ボールリンクが2種類あることに注意!
 スペーサー付をサーボホーン側に使用します。

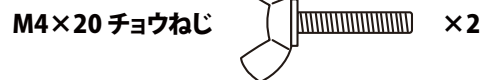


ねじ・ナット・ワッシャー類

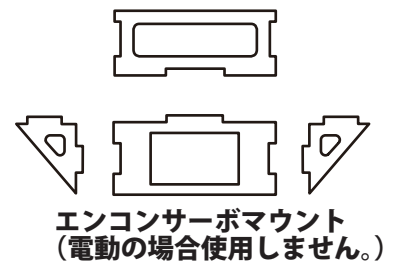
- M4 x 20 六角 x 12
- M3 x 16 六角 x 16
- M3 x 12 六角 x 6
- M3 x 10 六角 x 4
- M2.6 x 12 タッピング x 4
- M4 ナイロン ナット x 12
- M3 ナイロン ナット x 12

※パーツは変更される場合があります。

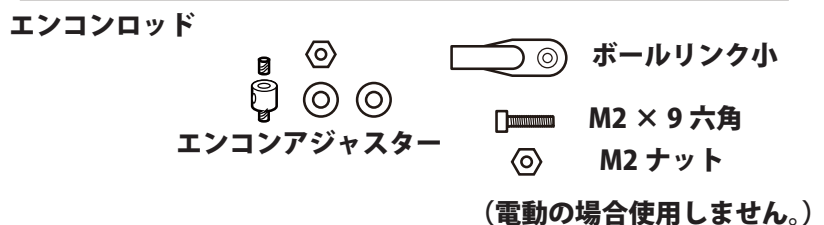
※ビス・ナット・ワッシャー類は余分に入っている場合があります。



- M4 ワッシャー x 16
- M3 ワッシャー x 26



スロットルコントロールのパーツ



3 主翼の製作

1. エルロンの取付 左右の主翼にエルロンを取付けます。

1 ヒンジの穴(方翼5カ所)

●主翼とエルロンにヒンジが入る下穴が5カ所開けられています。

<主翼>

2 ●ヒンジの可動部にグリスを少量ぬっておくと接着剤がながれこみにくくなります。
注! プラスチックを侵さないサーボグリスなど使用してください。接着部分にグリスが付着してはいけません!

●ヒンジ

3 ●ヒンジ穴にエポキシ系接着剤を適量ながしこんでヒンジの軸方向に注意しヒンジを接着します。

<エルロン>

! ヒンジの軸の可動方向に注意してください。図のように可動する向きにします。

! ヒンジの可動部に接着剤が付かないように注意!

! エポキシ接着部にグリスが付かないように注意!

4 ●完全に接着が乾燥してから、主翼のヒンジ穴に、エポキシ系接着剤を適量流し込んで、主翼にエルロンを差込みます。
注! デザインをみて主翼とエルロンの表裏を間違えないように注意してください。

ここにはスキマがありません。左右のスキマを均等に合わせます。

エルロンと主翼の間にはスキマをあけない。

●注! 余分な接着剤がヒンジの可動部に付かないように注意!

5 ●接着剤乾燥後にエルロンを上下に可動させます。はじめは動きがしぶいですが数回上下させるとスムーズに可動ようになります。エルロンがぬけてしまう事のないか、しっかりチェックしてください。

上下に数回可動させる

●注! エルロン両端と主翼があたっているとエルロンの動きが渋くなってしまいます。両端にはスキマが必要です。

●同じ作業で左右の主翼にエルロンを取付けます。

⚠ 飛行中振動や風圧でエルロンが外れることのないように確実にとりつけてください。■飛行中にはずれると操縦不能で墜落します。

⚠ エルロンの動きがしぶすぎるとサーボに負荷がかかりサーボの故障やバッテリーの電圧低下につながります。スムーズに動作するように組立ててください。

スカイリーフ ワンポイント アドバイス

スキマ

ピッタリ!

動舵のスキマをなくすとキレイ味のいいフライトができるよ!

2. エロンサーボの取付 左右の主翼にエロンサーボを取付けます。

1

- エロンサーボの穴とコントロールホーンの穴がフィルムの下の木地にあいています。その部分のフィルムをカットします。(透かすと見えます。)

<主翼裏面>

2

はんだコテ

エロンサーボの穴

- 木地の穴にそってはんだコテをあてると、簡単に穴あけができて、きりくちのフィルムもはがれにくくなります。

3

- エロンに使用するサーボ2個に**延長コード (別売)**をつけます。

延長コード

抜け防止のためテープを巻きます。

4

- すべてのサーボにラバーグロメットとハトメを図のようにとりつけます。

木ネジ
ラバーグロメット (ダンパー)
ハトメ
サーボマウント

5

- サーボマウントにキリで下穴をあけて、サーボに付属しているタッピングビスでサーボをとりつけます。
- サーボの向きに注意！サーボホーンが前縁側
- リード線は主翼内部を通して翼根の穴からだします。

6

- コントロールホーンの舵に挿入する部分を、先にサンドペーパーであらします。(接着強化のため)
- コントロールホーン2個
- エポキシ系接着剤をしっかりと塗ってさしこみます。
- ホーンガイド裏面にもエポキシ系接着剤を塗ります。
- ホーンガイドの接着部のフィルムをあらかじめカットしておきます。

<エロン後縁方向>

●ホーンガイド

<主翼>

7

- エロンリンクージュを行います。サーボに負荷かからないようにムリなくスムーズに動作させてください。上下の最大動作量が同じになるように、調整してください。

！サーボ側にスペーサー付ボールリンクを使うことに注意

M3×16六角ビス
スペーサー付ボールリンク
サーボホーン止めビス
スプリングワッシャー
サーボホーン
M3ワッシャー
M3ナット
予備固定用ビス (M2x8)

付属品

<前>

●Futaba アルミホーン 38GM
※サーボ付セットのみ付属

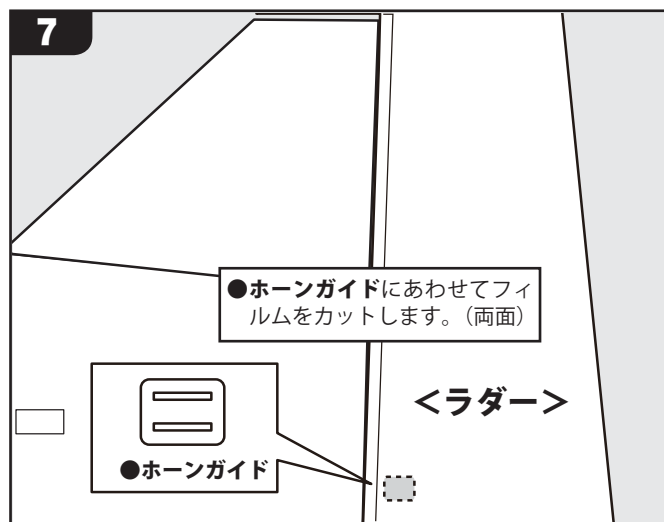
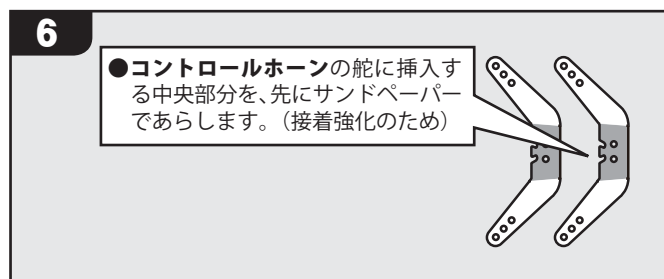
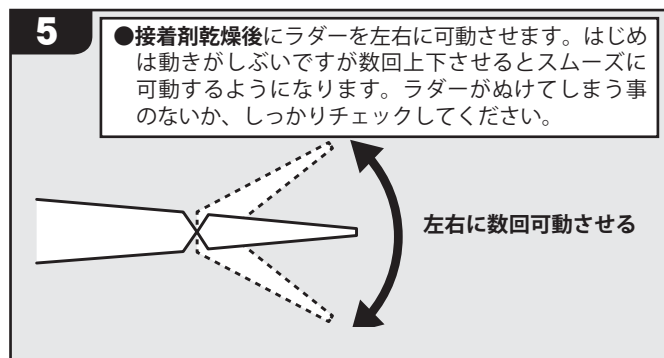
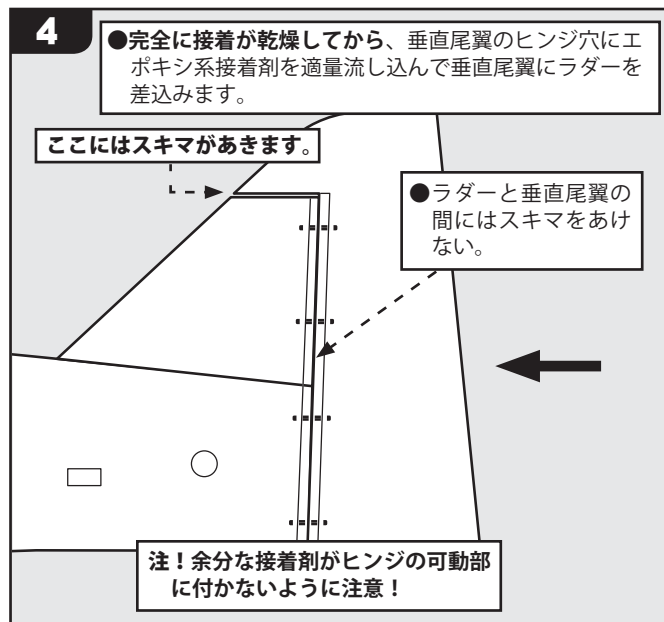
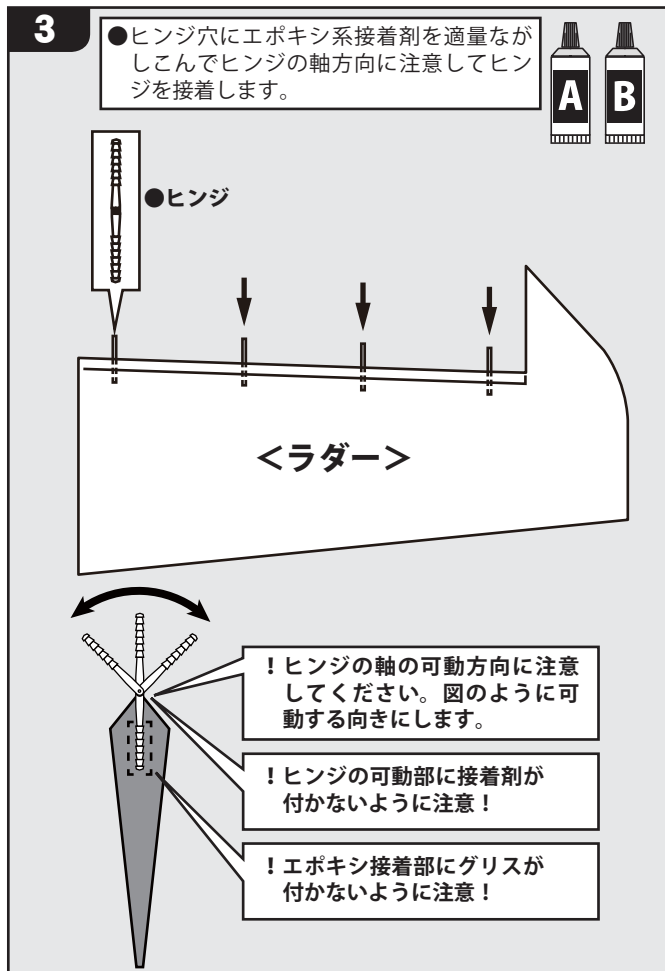
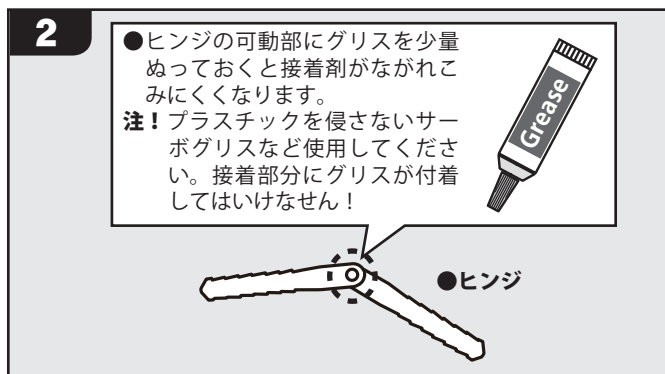
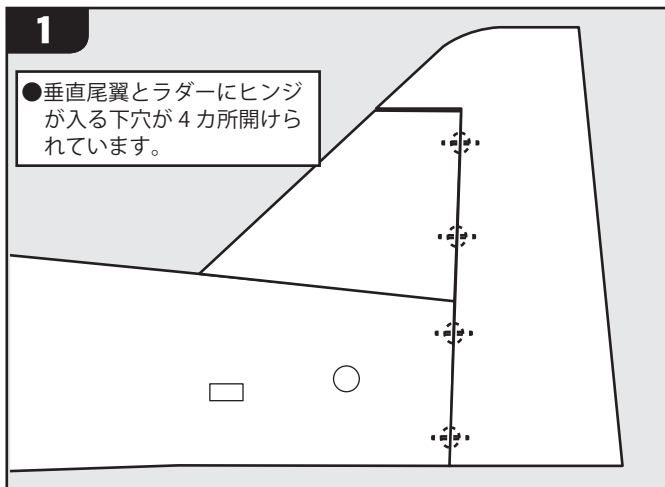
<翼端>

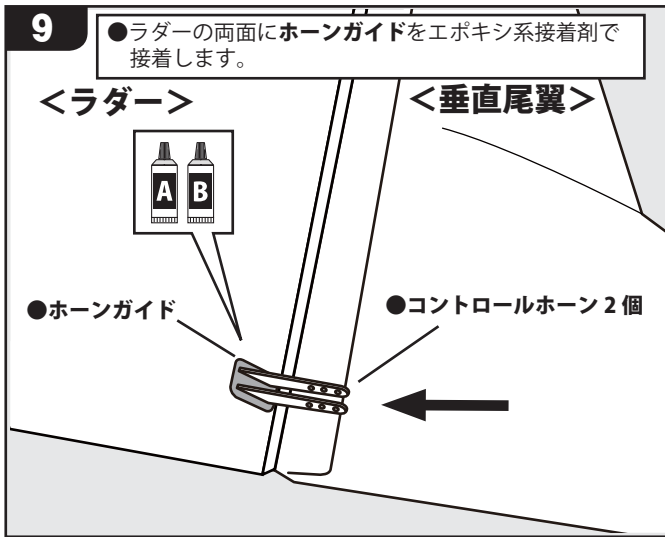
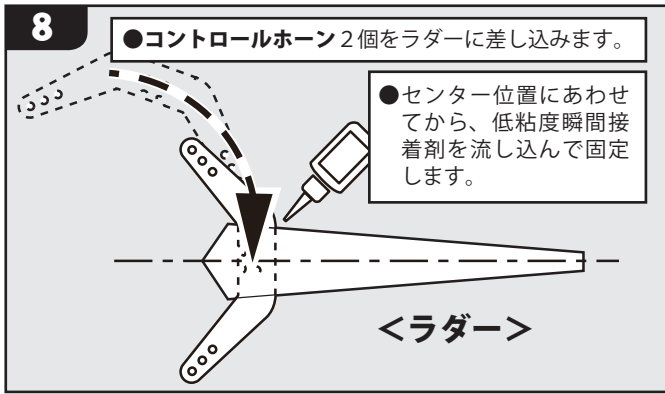
ボールリンク
エルロンロッド
M3ナット
M3ワッシャー
コントロールホーン
M3×16六角ビス

- 同じ作業で左右の主翼にサーボを取付けます。

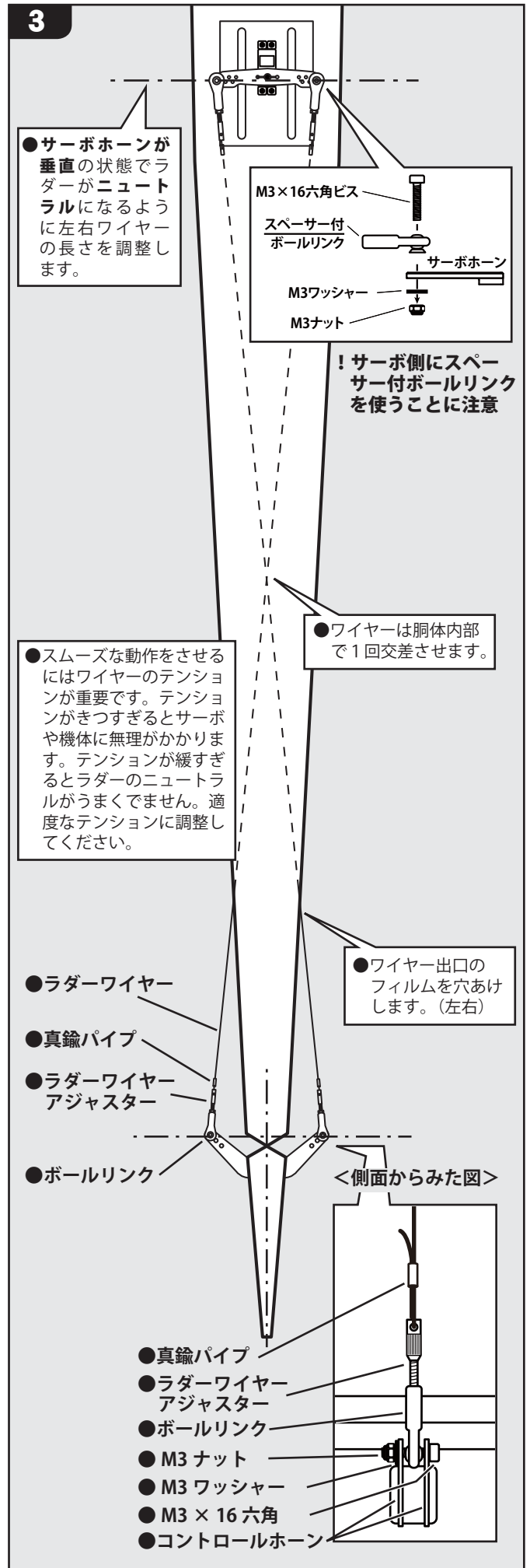
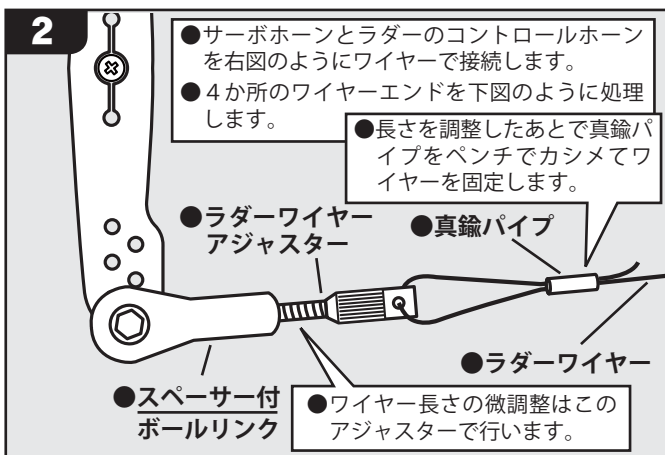
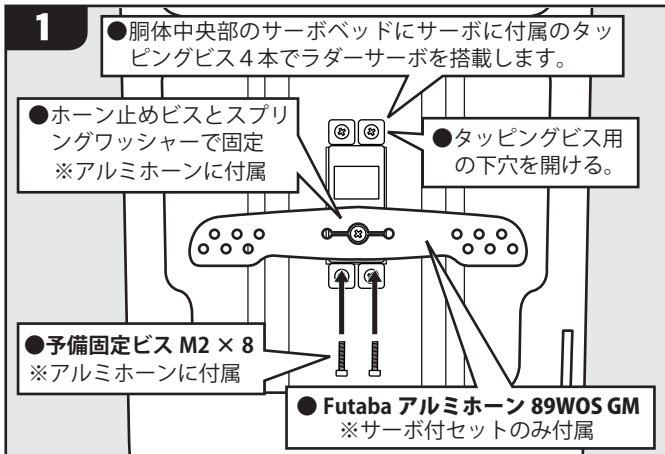
4 ラダーの製作

1. ラダーの取付



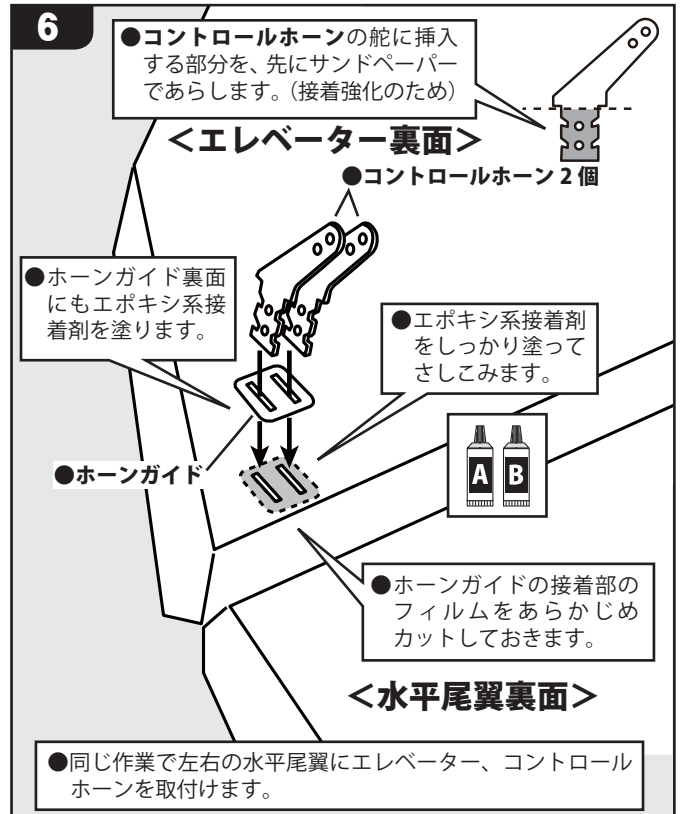
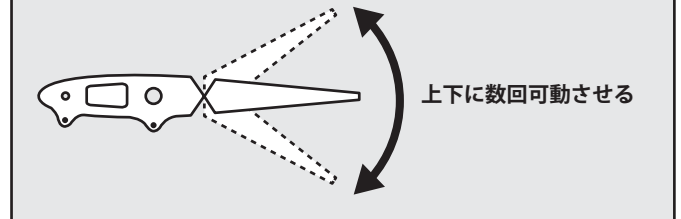
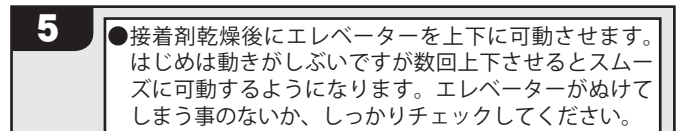
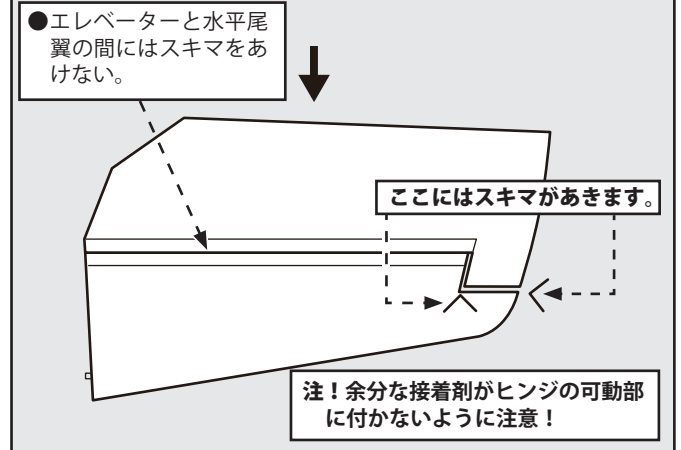
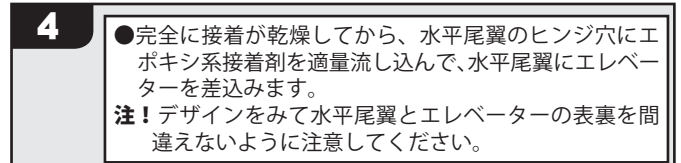
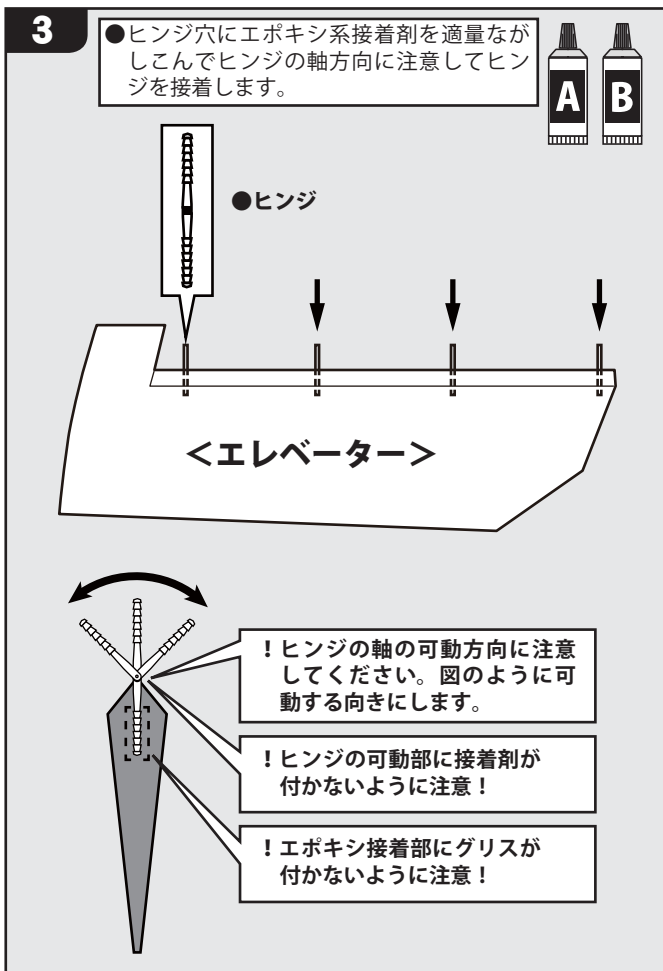
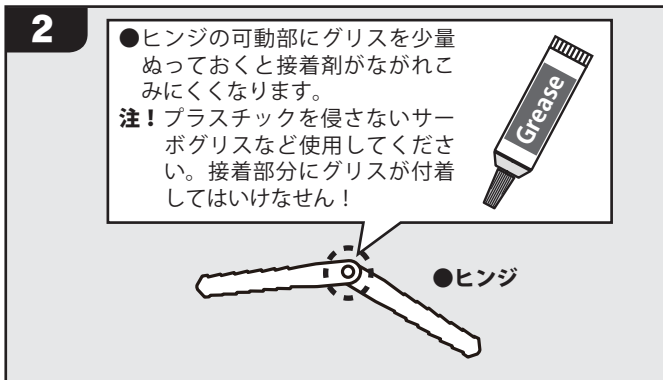
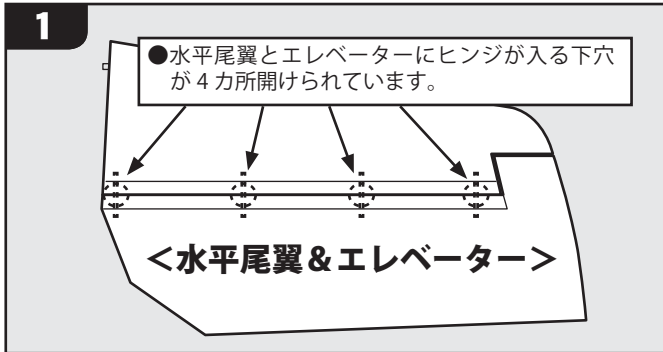


2. ラダーのリンケージ



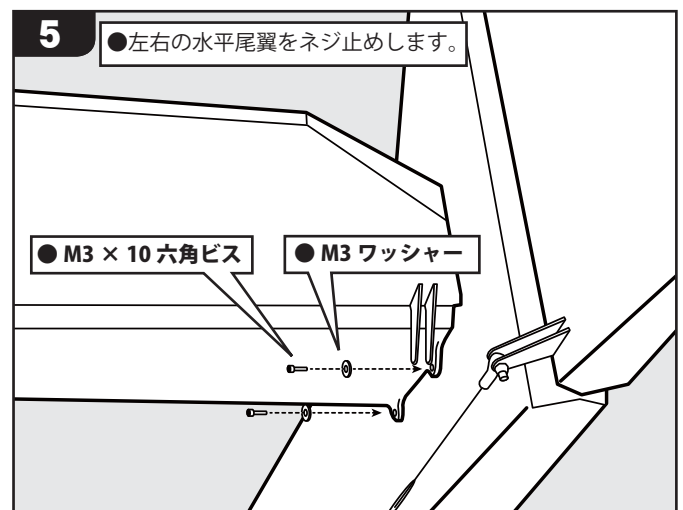
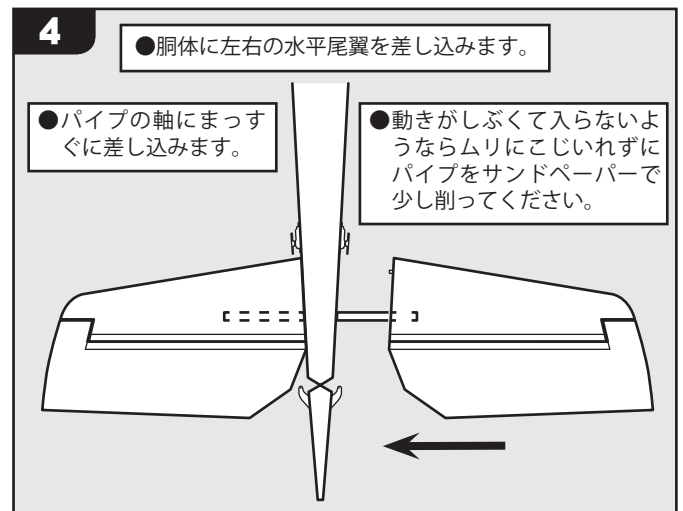
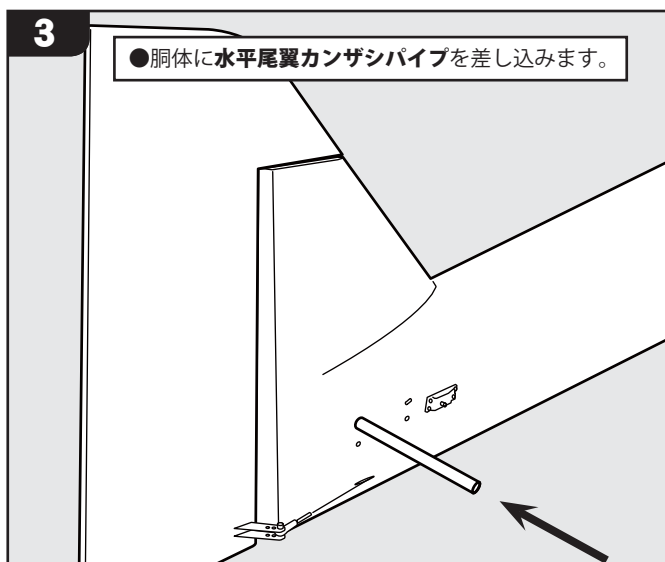
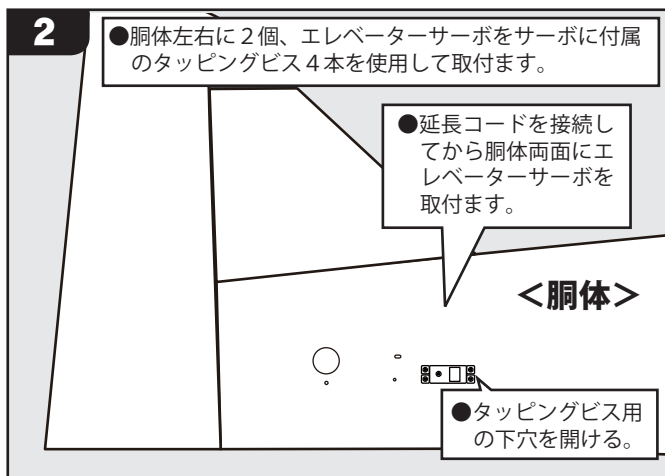
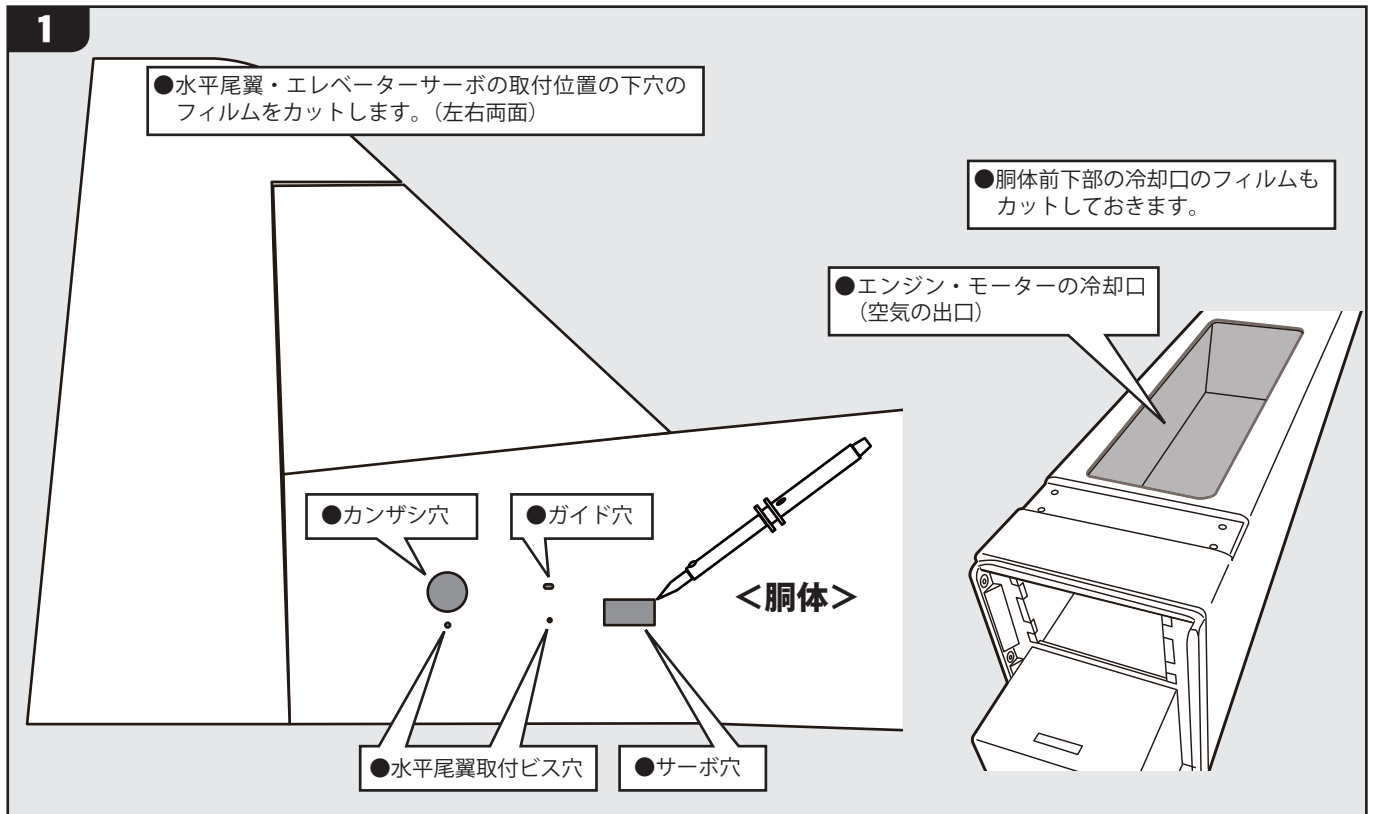
5 水平尾翼の製作

1. エレベーターの取付



⚠ 飛行中振動や風圧でエレベーターが外れることのないように確実にとりつけてください。■飛行中にはずれると操縦不能で墜落します。

2. エレベーターサーボの取付・水平尾翼の取付



3. エレベーターのリンケージ

1 ●左右エレベーターのリンケージを行いません。ムリなくスムーズに動作するようにしてください。

※アルミホーンに付属
サーボホーン止めビス
サーボホーン
予備固定用ビス (M2x8)

M3×16六角ビス
スペーサー付ボールリンク
M3ワッシャー
M3ナット

! サーボ側にスペーサー付ボールリンクを使うことに注意

● Futaba アルミホーン 38GM
※サーボ付セットのみ付属

エレベーターロッド

エレベーターの動きがしぶすぎるとサーボに負荷がかかりサーボの故障やバッテリーの電圧低下につながります。スムーズに動作するように組立ててください。

M3×16六角ビス
ボールリンク
コントロールホーン
M3ワッシャー
M3ナット

<下から見た図>

6 テールギヤの取付

1

100mm

<ラダーを下面から見た図>

●ステアの穴位置にあわせて3か所下穴をあけます。

●図の位置に下穴をあけます。

2

<胴体>

●ステア

●ステアリングジョイント

●M3×14 タッピングビス 3本でステアを固定します。

●シャフトジョイント
●ステアをはさんでナットをしっかりしめます。

●シャフト

●イモネジ

●1.5mmの6角レンチか6角ドライバーでイモネジをしめます。

<ラダー>

●ラダーアタッチメントの穴にステアリングシャフトを通します。

●ラダーアタッチメントをラダーにねじこみ瞬間接着剤で固定します。

●ラダーアタッチメント

●M3×4 ビス
※シャフトのDカット部にあたる方向にしめます。

●ステアリングシャフト
●シャフトの端部は金ヤスリでバリを落とします。

●ストッパー

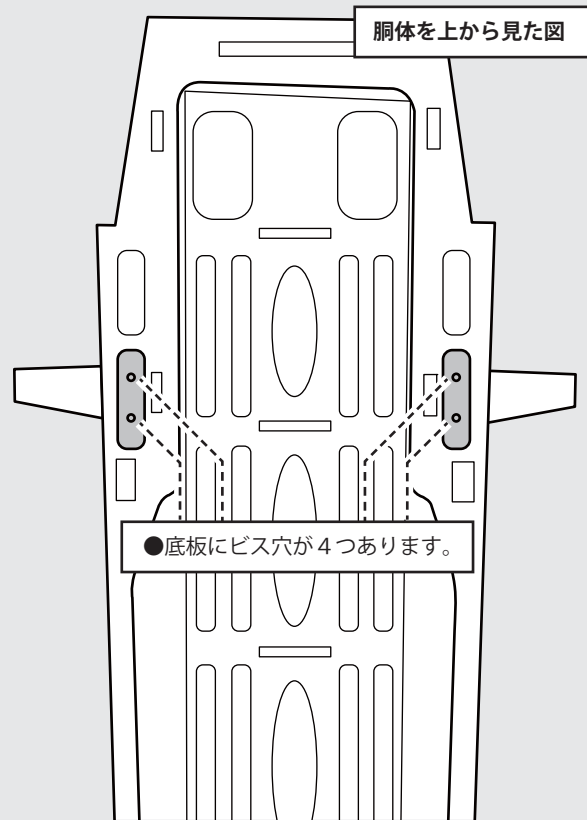
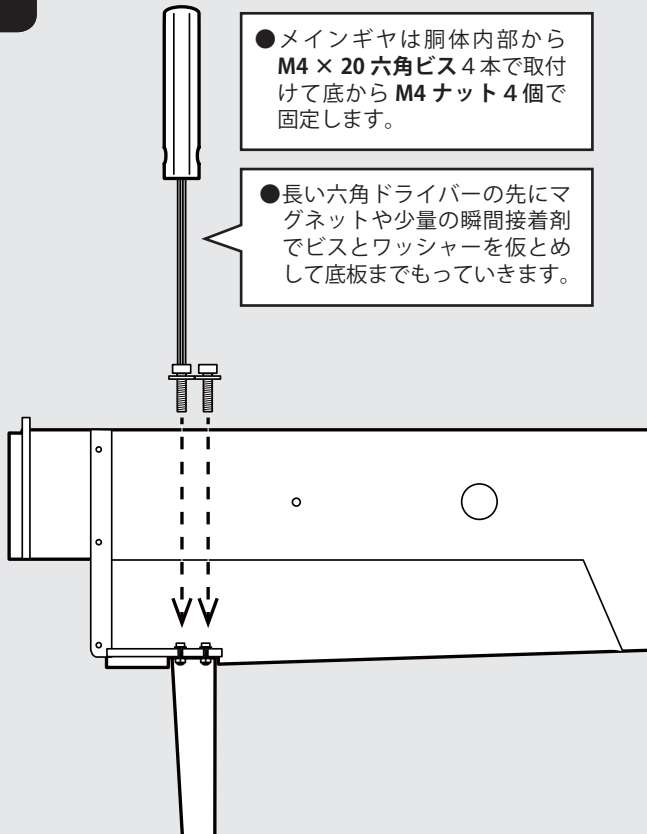
●イモネジ

●尾輪

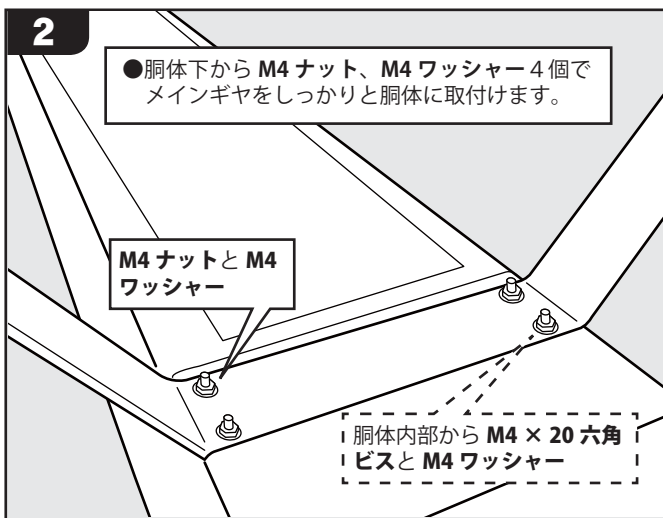
●ラダーがスムーズに作動し、尾輪がスムーズに回転するように、ストッパーを固定します。

7 メインギヤの取付

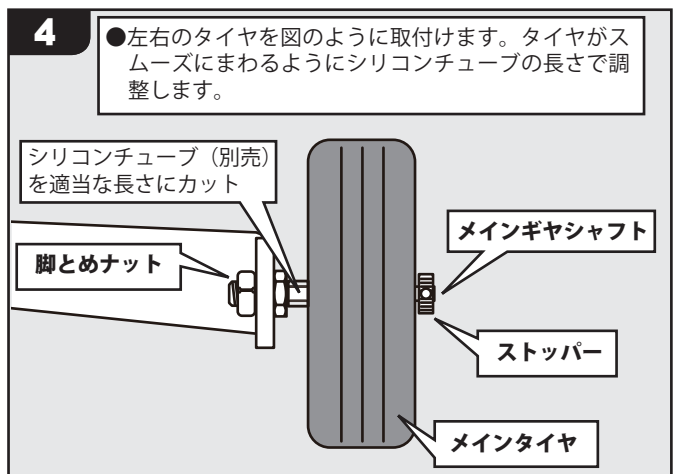
1



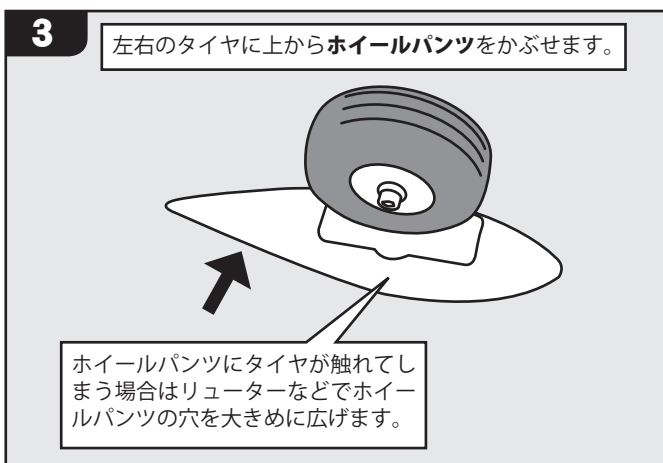
2



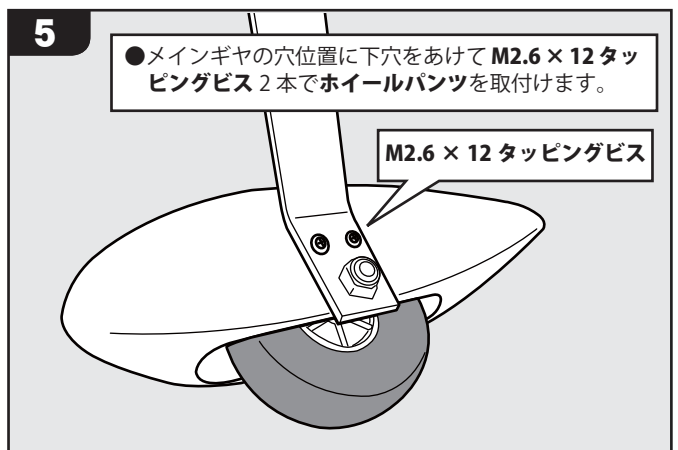
4



3



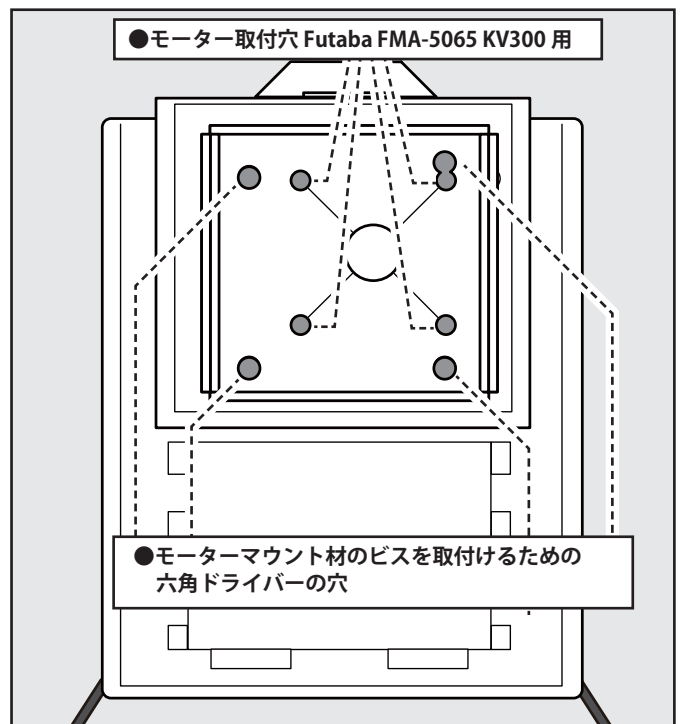
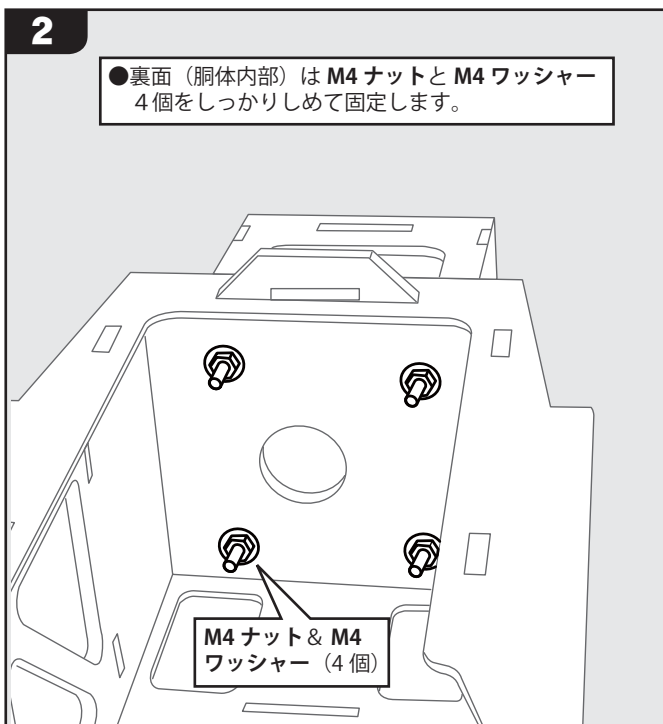
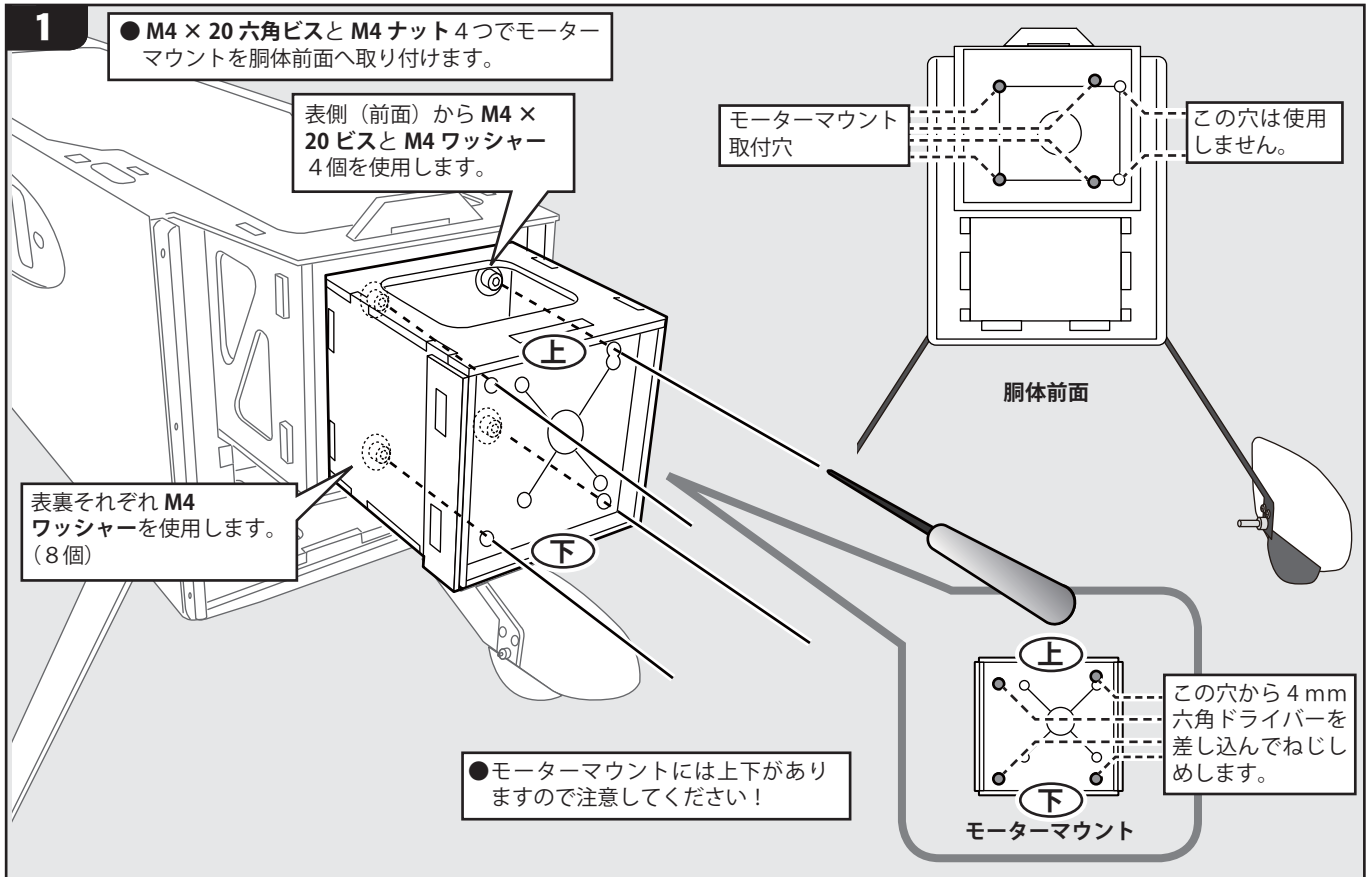
5



電動モーターを使用する場合

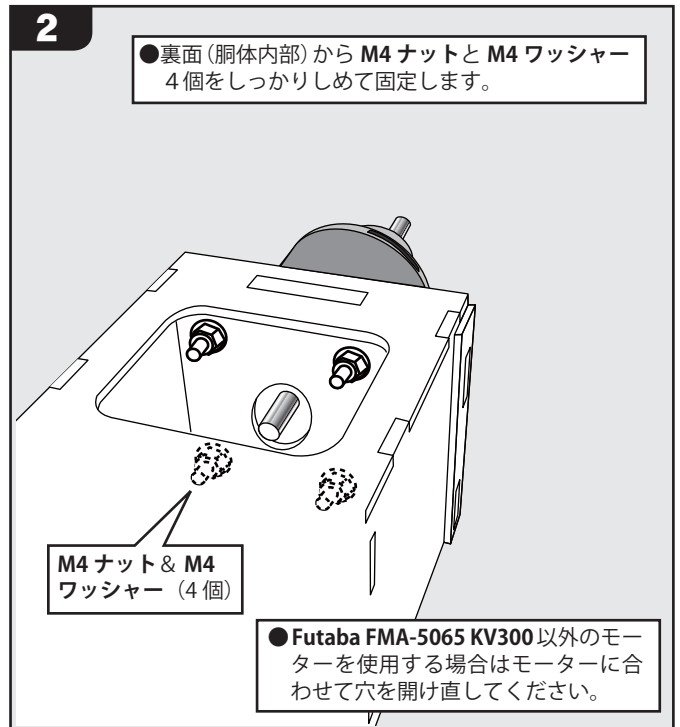
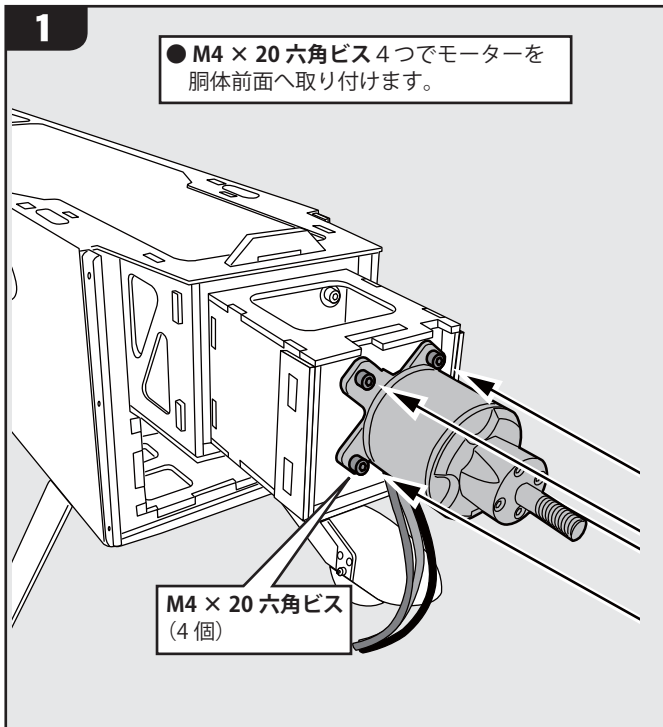
！本キットは電動モーターとガソリンエンジンを選択できます。このページは電動モーターを使用する場合の説明です。ガソリンエンジンを使用する場合はこのあとの説明をご参照ください。組み立ててからの変更はできません。

8 モーターマウントの取付



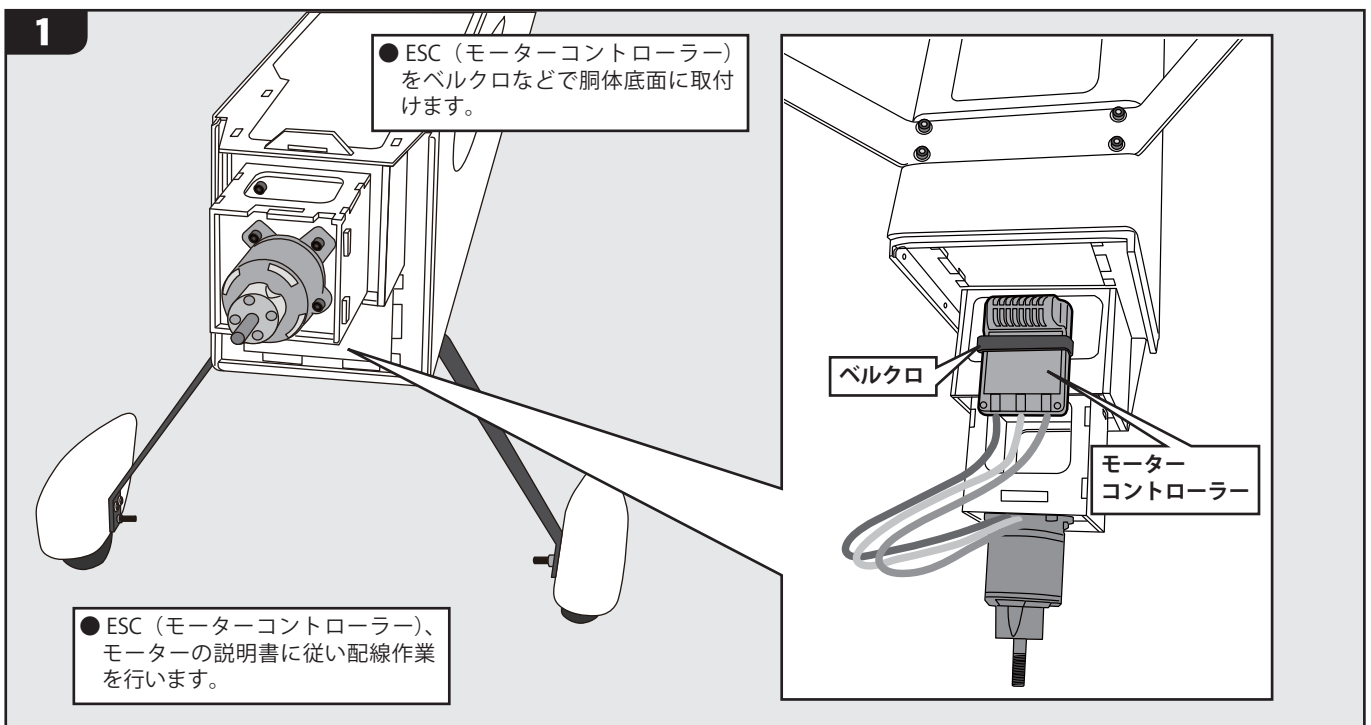
電動モーターを使用する場合

✖9 モーターの取付



カウリングを付けてみて、プロペラシャフトのセンター位置がずれている場合は長穴を開け微修正してください。

✖10 モーターコントローラーの取付



エンジンを 사용하는場合

! 本キットは電動モーターとガソリンエンジンを選択できます。このページはガソリンエンジンを使用する場合の説明です。電動モーターを使用する場合はこの前の説明をご参照ください。組み立ててからの変更はできません。

8 エンジンの取付

1

●エンジン取付用の穴

この穴は使用しません。

OS GT33 の場合の穴位置です。他のエンジンを使用する場合はカウリングをつけてエンジン取付穴の位置を決めて穴を開け直してください。

OS GT33 の場合でもカウリングを付けてみて、エンジンシャフトのセンター位置がずれている場合は長穴を開け微修正してください。

2

●OS GT33 の場合 OS スタンド・オフ・エンジン・マウント・44.5mm (別売) を使用してエンジンを取付けます。

●エンジンマウントに付属の M5 ビス・ワッシャーを使用します。

●OS スタンド・オフ・エンジン・マウント・44.5mm (別売)

↑機体下面：エンジンは倒立に搭載します。

約 164mm

●胴体第一胴枠からドライブシャフトのプロペラ面まで約 164mm になるように。

9 エンジン・コントロールサーボ・燃料タンクの取付

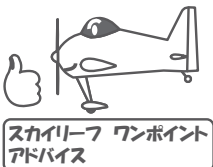
1

●エンコンサーボベッドを瞬間接着剤で組み立てます。

2

●サーボを載せてみてエンコンリンケージのしやすい位置にサーボベッドをエポキシ接着材で接着します。

●スムーズにリンケージできる位置に接着してください。



エンジンまわりは振動が大きいのでネジ止めや接着は頑丈に!

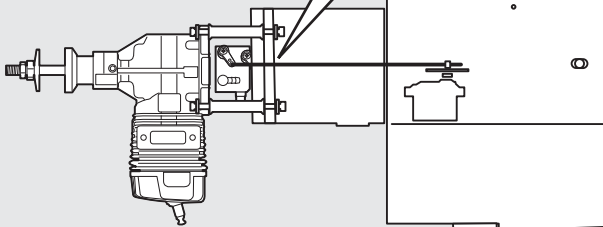
エンジンを 사용하는場合

3

●使用するエンジンのスロットルの位置を考慮して、エンコンサーボを搭載してください。

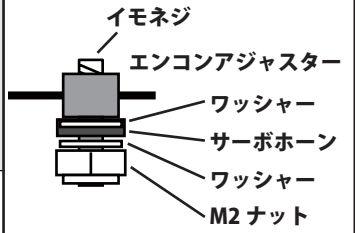
< OS GT33 の例 >

●第一胴枠にエンコンロッドの通る穴をあけます。



●チョークレバーのあるエンジンの場合、カウリングを付けた状態でチョークレバーの操作ができるようにしてください。

<横からの図>



●エンコンアジャスター

●エンコンロッド

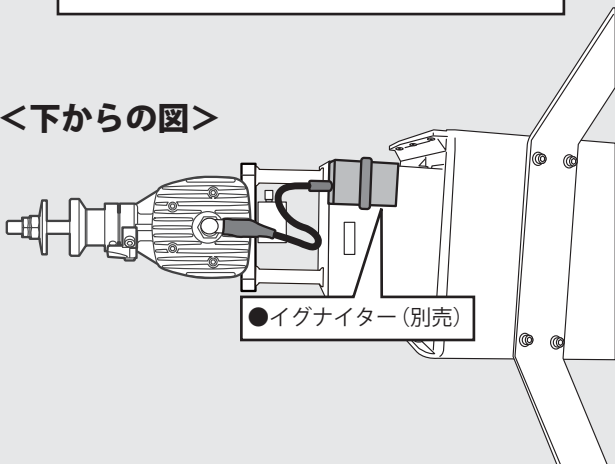
●サーボ止めタッピングビス 4本

<上からの図>

4

●イグナイター（エンジン付属別売）をベルクロなどで取付けて、プラグと接続します。

<下からの図>

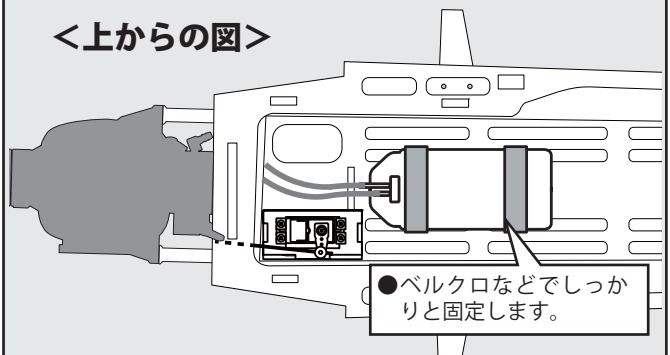


●イグナイター（別売）

5

●燃料タンク（別売）を取付けて、エンジン・燃料タンクの説明書に従って配管をおこないます。

<上からの図>



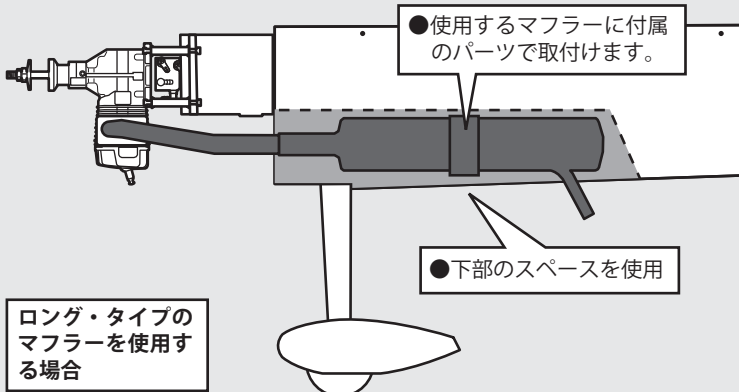
●ベルクロなどでしっかりと固定します。

注！燃料タンク・燃料チューブは必ずガソリン用を使用してください。グローエンジン用はガソリンに侵されます。

✖10 マフラーの取付

1

●別付けのマフラー、マニホールドを使用する場合は、下部のスペースを利用して取付けてください。



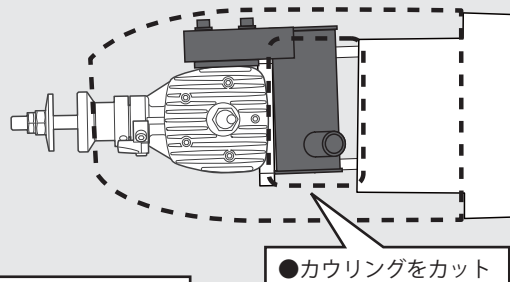
●使用するマフラーに付属のパーツで取付けます。

●下部のスペースを使用

ロング・タイプのマフラーを使用する場合

2

●GT33 付属のマフラーを使用する場合はカウリング下部を切り抜いて排気口が出るようにしてください。



●カウリングをカット

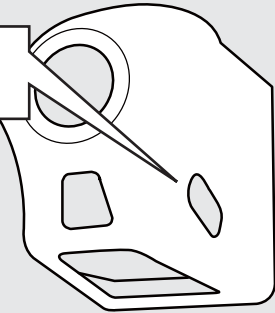
ショート・タイプのマフラーを使用する場合

➤11 カウリングの取付

1

●カウリングを取付けてみて、エンジンやマフラー、マニホールドにあたる部分をリューターなどで削ります。

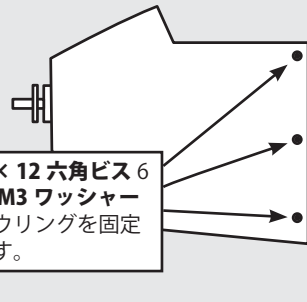
●あたる部分をリューターなどで削ります。



2

●カウリングを前方から胴体に取り付けて、M3 × 12 六角ビスと M3 ワッシャー 6 本で固定します。

● M3 × 12 六角ビス 6 本と M3 ワッシャーでカウリングを固定します。



➤12 スイッチ・受信機・バッテリーの取付

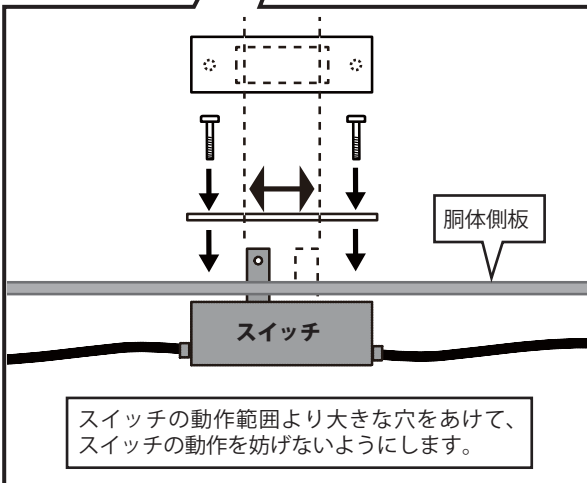
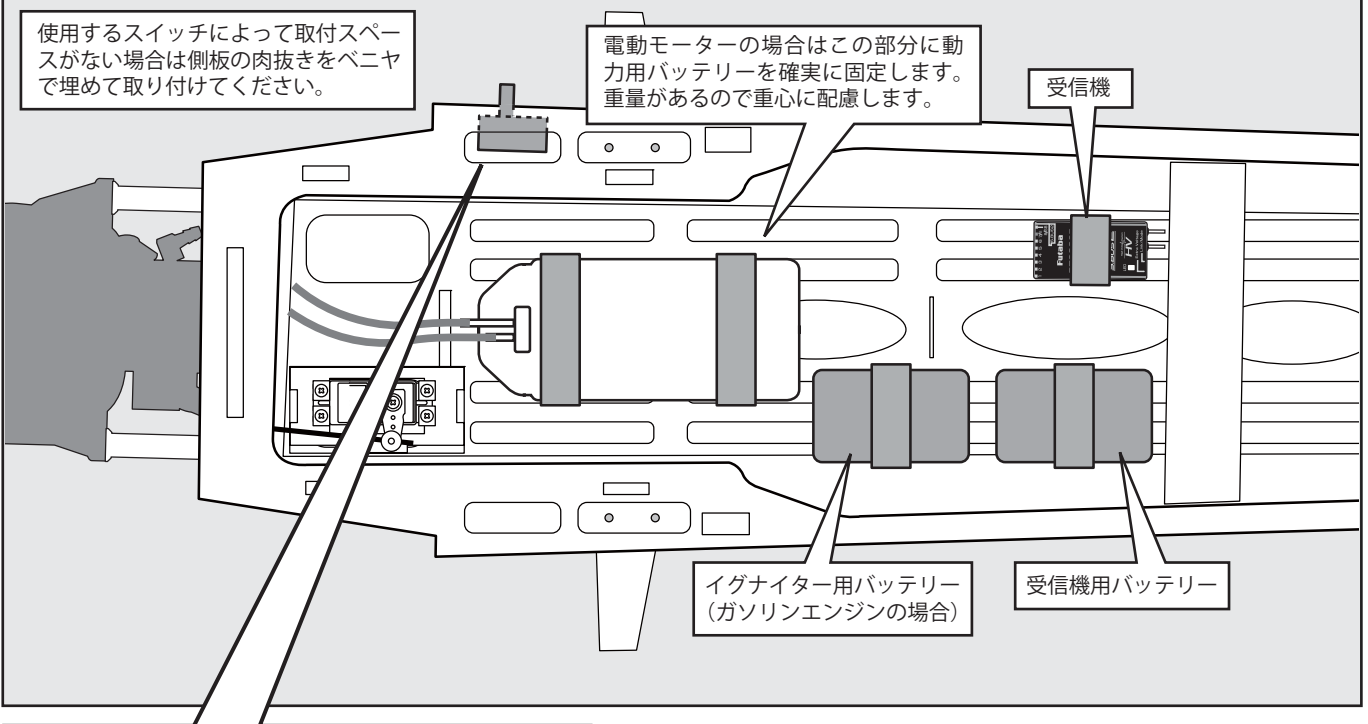
1

●胴体内部にベルクロなどを使用してバッテリー・受信機・スイッチなどを取付けます。

<胴体中央部を上からみた図>

使用するスイッチによって取付スペースがない場合は側板の肉抜きをベニヤで埋めて取り付けてください。

電動モーターの場合はこの部分に動力用バッテリーを確実に固定します。重量があるので重心に配慮します。

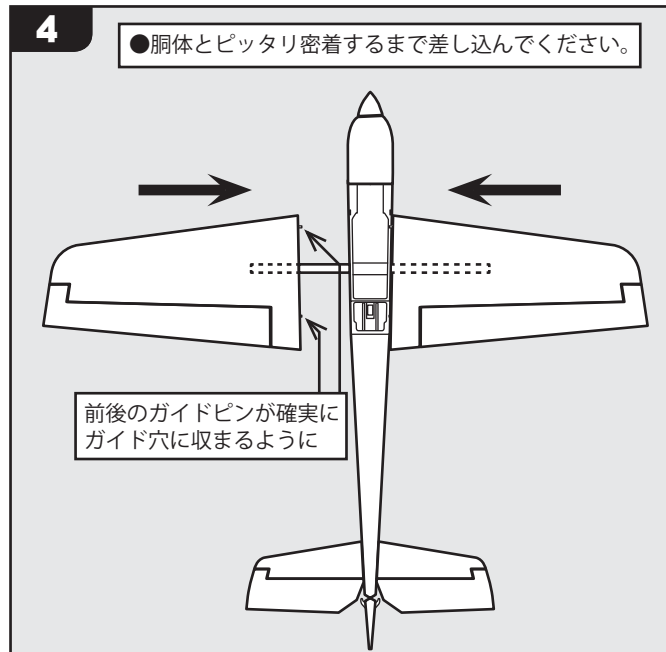
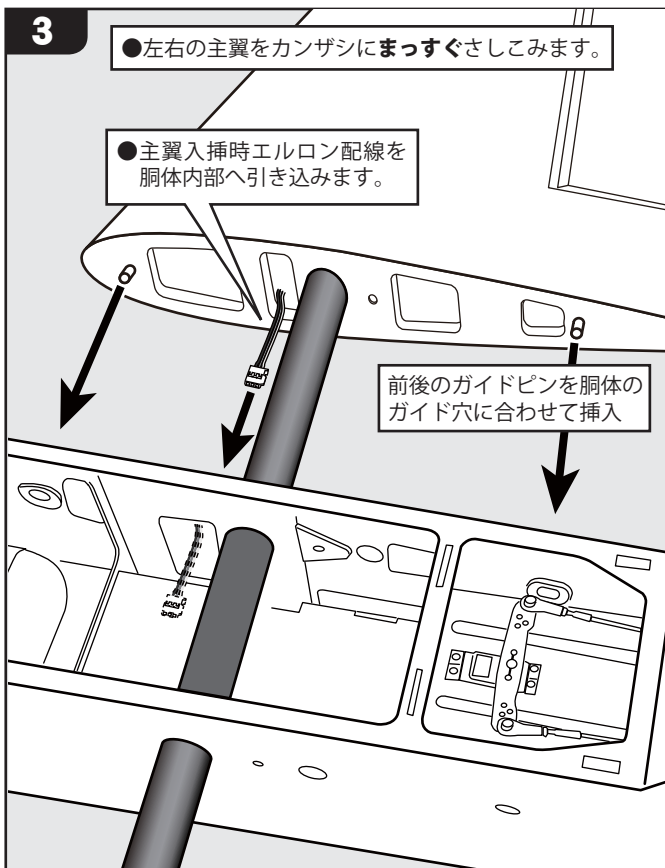
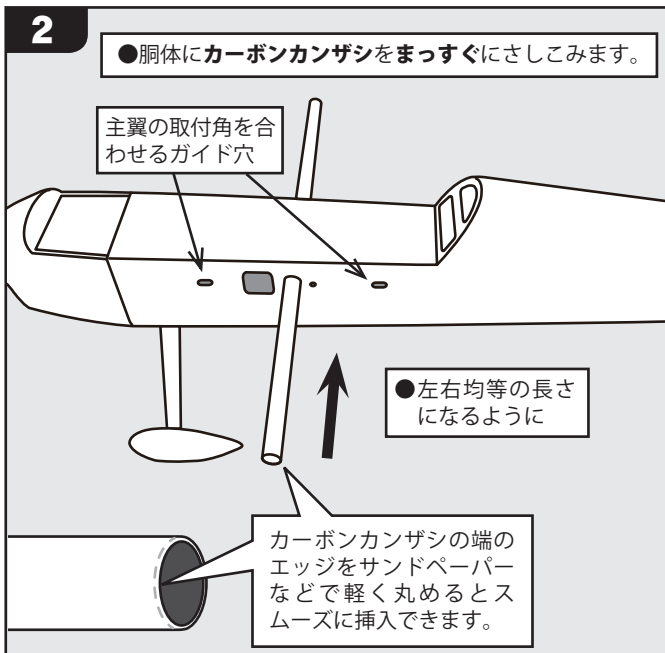
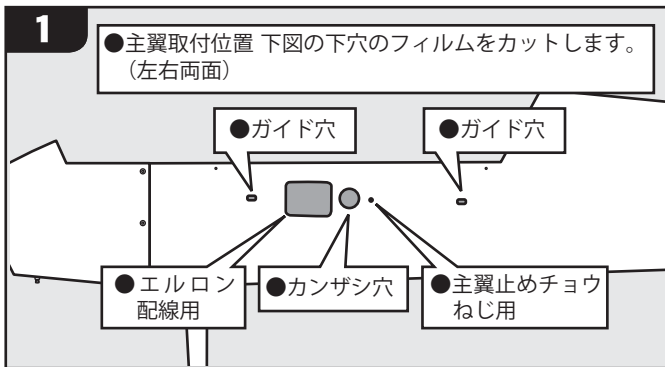


⚠ 受信機・バッテリーはそれぞれスポンジで包むなど十分に防振対策を行ない、また、飛行中に外れることのないように、しっかりと取付けてください。
■飛行中に外れると配線がぬけて操縦不能になり墜落します。

⚠ 配線は、振動で断線しないように、やわらかく固定してください。
■飛行中に配線がぬけたり断線したりすると操縦不能になり墜落します。

⚠ バッテリーの充電は必ず機体からはずして、はなれた安全な場所で充電してください。
■機体に積んだまま充電すると、火災の危険性があります。

13 主翼の取付



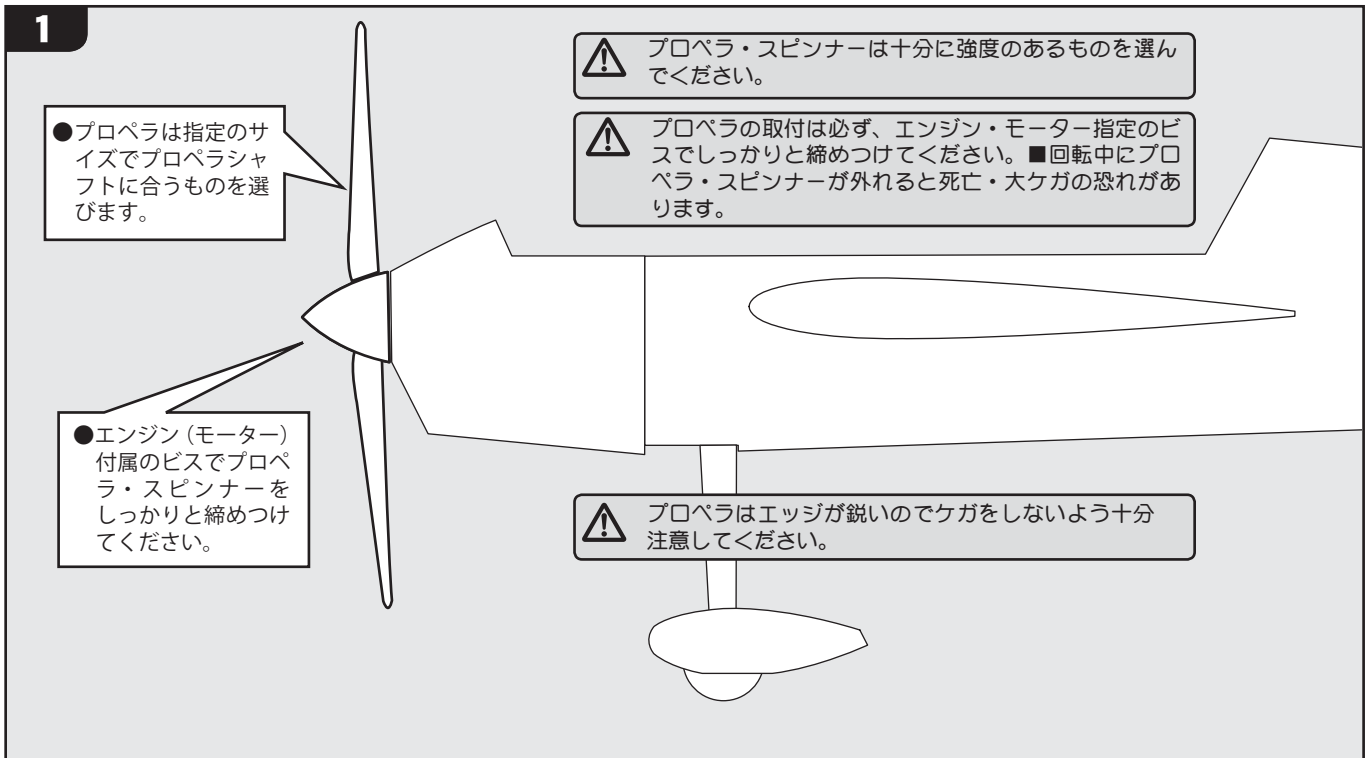
⚠ カarbonカンザシの主翼への挿入ですが、湿度や温度により入りにくい場合があります。ムリに押しこんだり、斜めに挿入すると、主翼の部品が破損しますので、注意してください。
 ■主翼内部の部品が破損すると空中分解で墜落する危険性があります。

⚠ 飛行時の組み立てのとき、ウイングボルトの締め忘れに十分注意してください。
 ■ウイングボルトをしめ忘れると空中分解で墜落します。

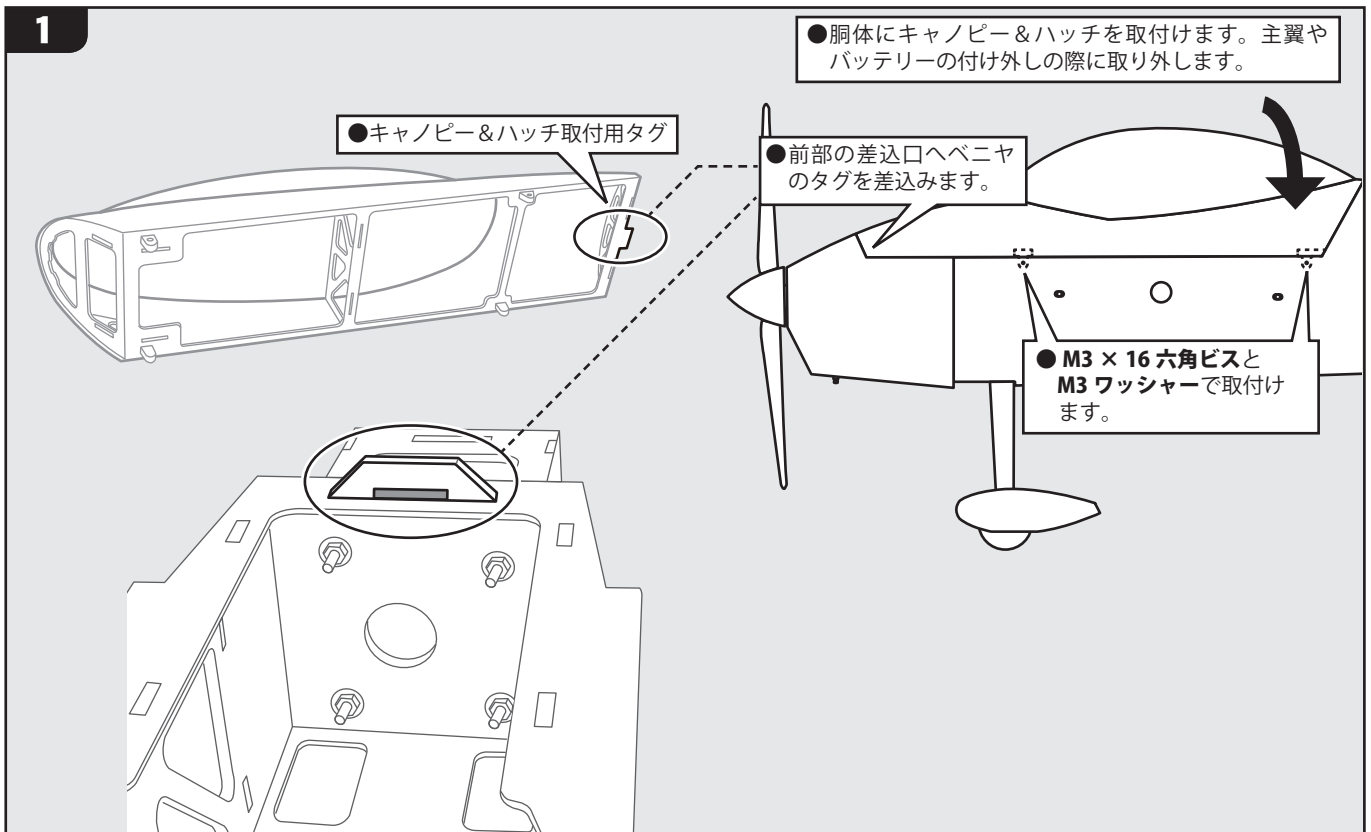
⚠ 飛行時の組み立てのとき、配線の挟み込みに十分注意してください。
 ■挟み込んで配線が断線すると操縦不能で墜落します。

✂️14 プロペラ・スピナーの取付

プロペラ・スピナーは別売です。それぞれの説明書にしたがって確実に取付けます。

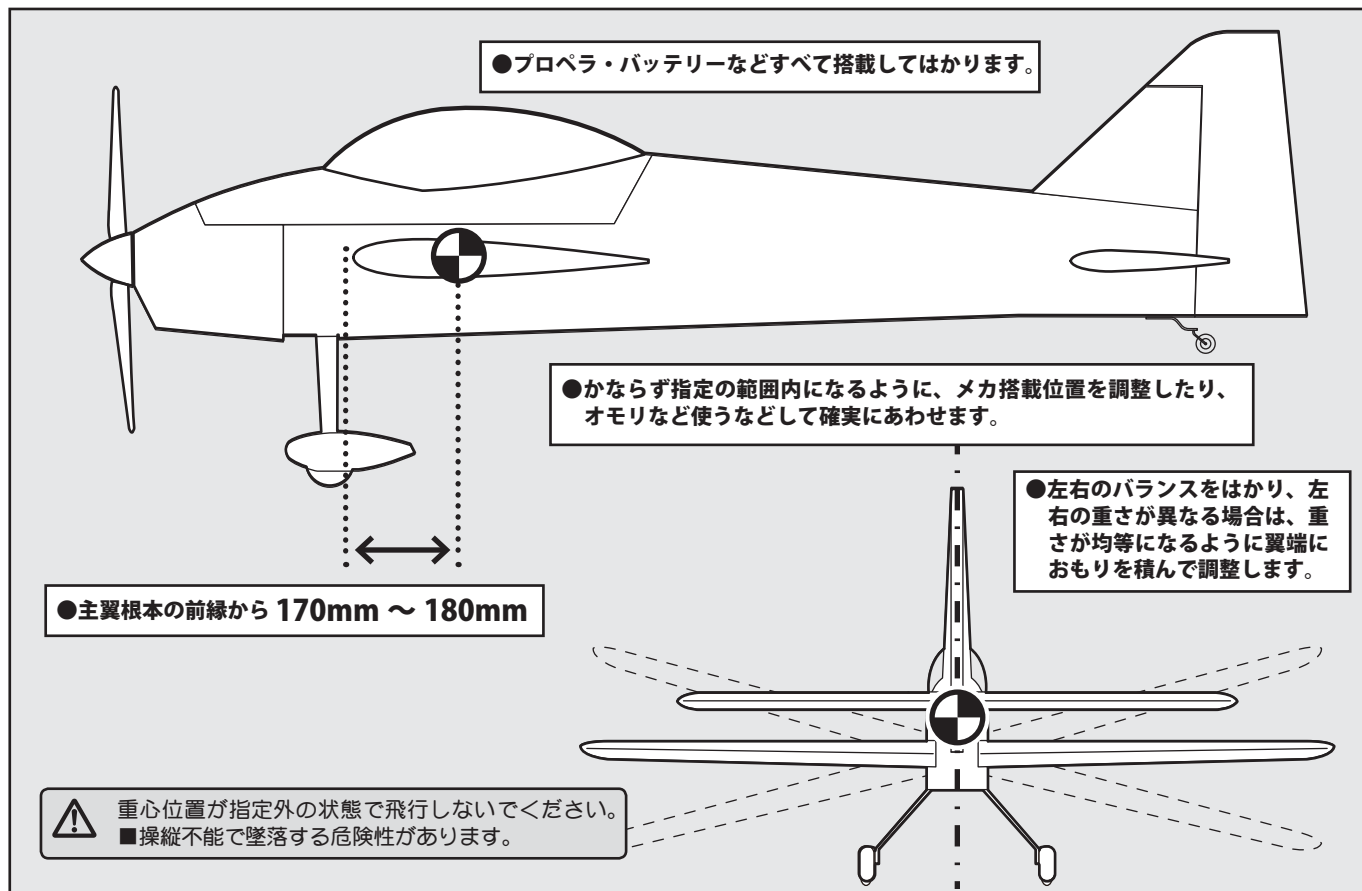


✂️15 キャノピー&ハッチの取付



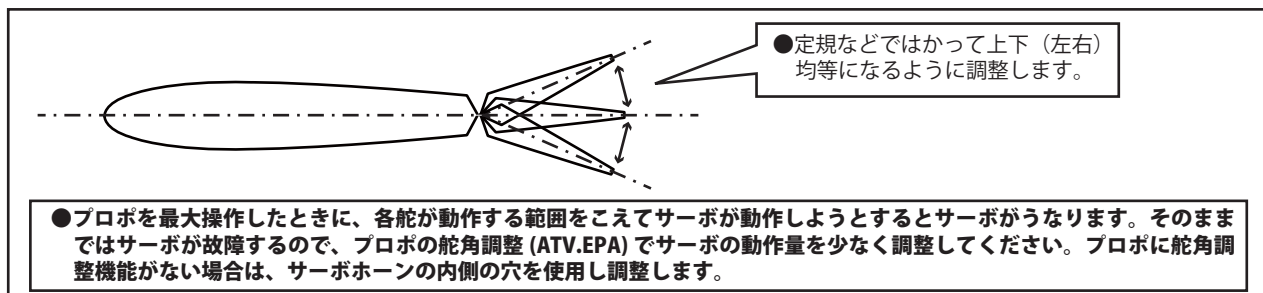
✖16 重心位置をあわせる

これで、組立は完成しました。重心位置は飛行機にとって重要ですので、確実にあわせませす。



✖17 舵角をあわせる

それぞれの舵の方向を確認してプロポのリバース機能であわせませす。また、それぞれの舵角を定規などではかって上下左右均等になるように、プロポの舵角調整機能 (ATV.EPA) で調整します。



⚠ この機体は、舵角が大きくなり動作するようになっています。危険ですのではじめは少ない舵角でフライトしてください。■大舵角は不意の失速で墜落する危険性があります。

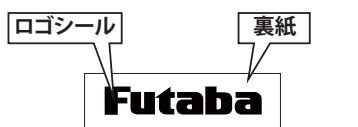


プロポのデユアルレート (D/R) をつかって、大小2つの舵角を設定すると便利だよ!! 普段は少ない舵角で飛ばして、アクロ飛行時に大舵角にきりかえるんだ! 参考にボクの舵角セットを覚えておくね!! ポイントは大舵角のときはエキスポネンシャル (EXP) のマイナスをふやすこと。大舵角でニュートラル付近が過敏になるのをおさえるのさ!

●通常 (小舵角) :	(デユアルレート)	エルロン 40%	エレベーター 35%	ラダー 130%
	(エキスポネンシャル)	エルロン -45%	エレベーター -25%	ラダー -40%
●アクロ (大舵角) :	(デユアルレート)	エルロン 100%	エレベーター 125%	ラダー 130%
	(エキスポネンシャル)	エルロン -80%	エレベーター -80%	ラダー -40%

➤18 シールの貼付け

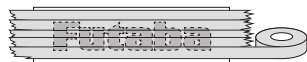
●ロゴシールの貼り方の例



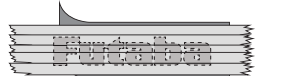
①表面にマスキングテープを貼ります。



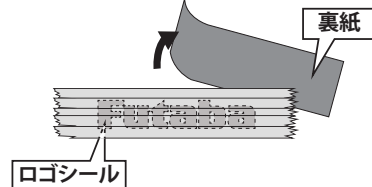
②文字すべてに被さるように重ねて貼ります。



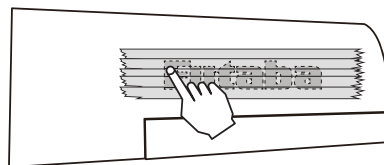
③裏紙を端からゆっくりはがします。



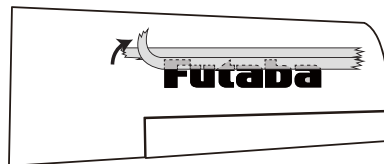
④マスキングテープにロゴシールを残して裏紙のみはがします。



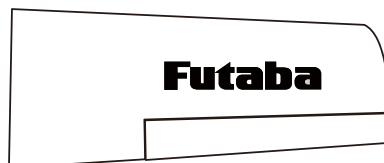
⑤位置をあわせてマスキングテープごと機体に貼ります。<!>空気が入らないように貼ってください。ロゴシール部分をこすって圧着させます。



⑥ロゴシールが機体からはがれないように慎重にマスキングテープのみをはがします。



⑦やわらかい布などで、ロゴシールを密着させて完成です。



※貼り位置は一例です。

➤19 テクニカルデータ

機体名	: スカイリーフ MX
全長	: 1800mm
全幅	: 1800mm
主翼面積	: 69.4d m ²
主翼翼厚	: 完全対称 12.8%
サイドスラスト	: 2.5°
ダウンスラスト	: 1.0°
全備重量	: 4,500g ~ 5,000g
設計・テストフライト	: Futaba フライトスタッフ
BLS175SV (S.BUS/ハイボルテージサーボ):	
●スピード	0.13sec/60° (6.6V)
●トルク	19.4kgf・cm (6.6V)
●サイズ/重量	40 × 20 × 36.8mm / 66g
●電源	4.8V ~ 7.4V (乾電池使用不可)

Futaba フライトスタッフの戦歴

音田哲男 (おんだてつお):

2003 ~ 2015 RC 曲技日本選手権 13 連覇
 2004 ~ 2014 RC 曲技アジア・オセアニア大会 6 連覇
 2005/11/13/15 RC 曲技世界選手権 2 位
 2007, 2009 RC 曲技世界選手権 3 位
 2013 室内電動 RC 曲技世界選手権 3 位

秋葉洋一郎 (あきばよういちろう):

RC 曲技日本選手権 優勝 4 回
 RC 曲技アジア・オセアニア大会優勝 2 回
 RC 曲技世界選手権 4 位
 RC 曲技世界選手権 団体優勝 5 回

鈴木貢司 (すずきこうじ):

RC 曲技日本選手権 連続 34 回出場
 RC 曲技世界選手権 8 回出場
 2000 RC 曲技アジア・オセアニア大会優勝
 2013 RC 曲技世界選手権 7 位
 2015 RC 曲技世界選手権 9 位
 2013~2015 RC 曲技日本選手権 2 位

この製品の修理はおこなっておりません。(サーボ付セット付属のサーボは修理可能な場合があります。)